

東日本大震災調査特別委員会報告書

本委員会に付託の事件について、調査の結果を下記のとおり気仙沼市議会会議規則第 110 条の規定により報告します。

記

1 目的（付託事件） 東日本大震災の復興完遂及び復旧・復興事業検証に関する調査のため

2 調査の経過・結果

(1) 特別委員会の活動概要

No.	年月日	会議等	内容
1	23.5.18	特別委員会	本委員会が設置され、互選により委員長に村上俊一委員、副委員長に高橋清男委員が選任された。 設置目的（付託事件）平成23年東北地方太平洋沖地震等による被害の早期復旧及び復興に関する調査のため
2	23.6.17	特別委員会	本特別委員会の運営方法について及び今後の委員会活動について協議した。 常任委員会単位で構成する4分科会を設置し、それぞれ担当分野ごとに状況等について調査をすることとし、分科会を開催したときは、直近の特別委員会で報告することとした。 なお、各分科会の主査、副主査には、各常任委員会の正副委員長が選任された。 今後の活動として、宮城県震災復興計画（1次案）並びに気仙沼市震災復興会議及び気仙沼市震災復興市民委員会開催前に会議の協議事項等の説明を求めることとした。
3	23.7.1	特別委員会	宮城県震災復興計画（1次案）について、気仙沼市震災復興会議及び気仙沼市震災復興市民委員会の開催状況について当局より説明を受けた。 また、市長より、国土交通省から発表された三陸縦貫自動車道の概要について報告がされた。
4	23.8.2	特別委員会	第2回気仙沼市震災復興会議及び第3・4・5回気仙沼市震災復興市民委員会の開催状況について当局より説明を受けた。 また、政府より示された「東日本大震災からの復興の基本方針」及び「宮城県震災復興計画(第2次案)」について、あわせて説明された。
5	23.8.22	第2分科会	被災した施設と利用者への影響等（障害者施設、高齢者施設、保育施設、仮設住宅）について調査するため、当局より説明を受けた。
6	23.8.22	第4分科会	長崎浄化センター及び大沢クリーンセンターを、当局の説明をもとに現地調査した。
7	23.8.25	第4分科会	魚市場周辺の水道施設及び小泉地区・大谷小学校付近・岩井崎地区等の市道を、当局の説明をもとに現地調査した。

No.	年月日	会議等	内容
8	23.8.26	第1分科会	教育委員会所管施設の被災状況及び復旧状況について調査するため当局より説明を受けた。
9	23.8.29	第2分科会	被災者支援等（義援金、弔慰金、災害関連死）について調査するため当局より説明を受けた。
10	23.8.31	特別委員会	第3・4回気仙沼市震災復興会議及び第6・7・8・9回気仙沼市震災復興市民委員会の開催状況について当局より説明を受けた。 委員会を中断し、休憩中に委員会協議会を開催した。
11	23.8.31	特別委員会協議会	コンサルタントより市土基盤の復旧・復興の基本的考え方等について説明を受けた。
12	23.9.5	第2分科会	階上ふれあい漁港の瓦礫処理の状況及び本吉斎場を、当局の説明をもとに現地調査した。
13	23.9.7	第3分科会	水産業の現状と今後の対応について調査するため当局より説明を受けた。
14	23.9.16	第1分科会	分科会報告について取りまとめた。
15	23.9.16	第2分科会	分科会報告について取りまとめた。
16	23.9.16	第3分科会	分科会報告について取りまとめた。
17	23.9.16	第4分科会	分科会報告について取りまとめた。
18	23.9.21	特別委員会	第5回気仙沼市震災復興会議及び第10・11回気仙沼市震災復興市民委員会の開催状況について当局より説明を受けた。 また、各分科会より分科会報告書が提出された。
19	23.10.6	特別委員会	第41回市議会(臨時会)において、「議案第1号気仙沼市震災復興計画の策定について」委員会付託され、議案審査を行った。
20	23.10.7	特別委員会	前日に引き続き、議案の審査を行った。 その後、当局より議案第1号について撤回の申し出があり、それを承認した。
21	23.10.7	特別委員会	第41回市議会(臨時会)において、「議案第3号気仙沼市震災復興計画の策定について」委員会付託され、議案審査を行った。
22	23.11.21	特別委員会	震災復興に係る情報等について説明を受けた。
23	23.12.26	特別委員会	震災復興に係る国・県の事業について説明を受けた。
24	24.2.1	特別委員会	東日本大震災復興特別区域法の枠組みと各計画等について説明を受けた。
25	24.3.6	特別委員会	中間報告の取りまとめについて協議した。 今後の活動について協議した。
26	24.3.9	特別委員会	東日本大震災復興交付金の第1回申請に係る国からの通知の状況と今後の対応について説明を受けた。
27	24.4.11	特別委員会	第1回気仙沼市震災復興推進会議について、被災市街地復興推進地域内の復興事業に係る説明会について、東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第2回）についての3項目を調査した。
28	24.5.11	特別委員会	気仙沼市災害危険区域の指定について、漁港区域拡大地区における整備の進め方等について、復興推進計画の認定・申請の状況等について、第5回J R気仙沼線復興調整会議の結果について、気仙沼市魚町・南町内湾地区復興まちづくりコンペの結果についての5項目を調査した。

No.	年月日	会議等	内容
29	24.6.8	特別委員会	東日本大震災復興交付金の交付可能額（第2回）について、水産加工施設等の集積について、気仙沼市漁業集落復興計画の策定について、気仙沼市復興整備計画について、気仙沼市被災地域の復興事業に係る不動産鑑定評価の結果について、住宅再建事業に係る参考資料についての6項目を調査した。
30	24.6.18	特別委員会	第46回定例会議案第22号「気仙沼市災害危険区域に関する条例」を審査した。当局からは、建築基準法の規定に基づき、災害危険区域の指定及び災害危険区域内における建築物の制限に関して必要な事項を定めるものであり、災害危険区域の指定は7月上旬の告示により決定されるとの説明があった。また、津波シミュレーションに基づく災害危険区域図（案）が資料として提出され、地区毎の想定浸水深が示された。審査の結果、「災害危険区域の指定に当たっては、被災された方々に丁寧な説明をし、理解を得ながら進めるとともに、区域の見直し・変更が生じた場合には事前に議会に説明されることを強く要望する。」との附帯決議がなされ、原案のとおり可決した。
31	24.7.11	特別委員会	復興交付金事業計画の提出（第3回）について、第2回気仙沼市震災復興推進会議について、海岸防潮堤等の整備に関する市民説明会及び意見交換会の開催について、復興整備計画の変更について、住まいの再建に関する手続きの開始についての5項目を調査した。
32	24.8.10	特別委員会	J R気仙沼線のBRTによる仮復旧について、赤岩港水産加工団地について、今後の住まいに関する意向調査について、各種事業に係る要望活動についての4項目を調査した。また、宮城県土木部河川課及び同気仙沼土木事務所より、海岸堤防の必要性と高さの設定について、津波シミュレーションについて説明を受け、意見交換を行った。また、特別委員会の運営方法について協議し、円滑な委員会運営を図るため運営小委員会を設置した。委員長に秋山善治郎委員副委員長に三浦由喜委員が選出された。
33	24.8.22	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。当局からの説明事項については、宮城県東部沿岸大規模被災市町連携会議について、住まいの再建に係る市独自支援施策（案）について、東日本大震災復興交付金の交付可能額（第3回）について、気仙沼市魚市場における高度衛生管理基本計画の概要についての4項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、被災家屋の基礎撤去について調査することとした。
34	24.8.29	特別委員会	宮城県東部沿岸大規模被災市町連携会議について、住まいの再建に係る市独自支援施策（案）について、東日本大震災復興交付金の交付可能額（第3回）について、気仙沼市魚市場における高度衛生管理基本計画の概要について、被災家屋の基礎撤去についての5項目を調査した。

No.	年月日	会議等	内容
35	24.9.6	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、宮城県東部沿岸大規模被災市町連携会議による政府等への要望活動について、災害廃棄物処理業務（2次仮置き場）の進捗状況についての2項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、土地区画整理事業の進め方について、「今後の住まいに関する意向調査」の回収状況についての2項目を調査することとした。
36	24.9.7	特別委員会	宮城県東部沿岸大規模被災市町連携会議による政府等への要望活動について、災害廃棄物処理業務（2次仮置き場）の進捗状況について、土地区画整理事業の進め方について、「今後の住まいに関する意向調査」の回収状況についての4項目を調査した。
37	24.9.25	特別委員会	石巻市議会との意見交換会の実施について協議した。
38	24.10.4	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、第3回震災復興推進会議について、農地転用・農業振興地域農用地区除外の状況について、水産加工施設等集積区域における市有地の分譲（売却）に関する考え方について、鹿折・南気仙沼地区土地区画整理事業施行区域内の土地の買い取りについて、今後の住まいに関する意向調査の結果について（速報値）、住まいの再建独自支援に係る受付及び例規（案）について、三陸沿岸道路「本吉気仙沼道路」の進捗状況について、ゴーヘイ!気仙沼の会についての8項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、気仙沼市復興整備協議会（第3回・第4回）について調査することとした。
39	24.10.1	特別委員会	石巻市議会と復旧・復興事業の進捗状況、震災復興に係る主要課題（住まいの再建やまちづくり・産業の再生等）について意見交換を行い、今後も復興に向けて連携していくことを確認した。
40	24.10.11	特別委員会	第3回震災復興推進会議について、気仙沼市復興整備協議会（第3回・第4回）について、農地転用・農業振興地域農用地区除外の状況について、水産加工施設等集積区域における市有地の分譲（売却）に関する考え方について、鹿折・南気仙沼地区土地区画整理事業施行区域内の土地の買い取りについて、今後の住まいに関する意向調査の結果について（速報値）、住まいの再建独自支援に係る受付及び例規（案）について、三陸沿岸道路「本吉気仙沼道路」の進捗状況について、ゴーヘイ!気仙沼の会についての9項目を調査した。
41	24.10.23	特別委員会	復興庁宮城復興局と復興事業に関する国の動向、復興交付金事業の採択基準、復興庁から見た本市の復興状況と課題・問題点等について意見交換を行った。
42	24.11.5	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。当局からの説明事項については、復興交付金事業計画の提出（第4回）について、災害廃棄物処理業務（2次借置き場）の進捗状況について、災害公営住宅・市誘導型防災集団移転の整備目標についての3項

No.	年月日	会議等	内容
			目を調査することとし、あわせて委員会要請として、基礎撤去の進捗状況について調査することとした。
43	24.11.12	特別委員会	復興交付金事業計画の提出（第4回）について、災害廃棄物処理業務（2次借置き場）の進捗状況について、災害公営住宅・市誘導型防災集団移転の整備目標について、基礎撤去の進捗状況についての4項目を調査した。
44	24.11.29	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。当局からの説明事項については、第4回「国と宮城県の意見交換会」について、復興整備計画（第3回変更）について、水産業共同利用施設復興整備事業の第1回公募についての3項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、東日本大震災からの復旧・復興状況について調査することとした。
45	24.12.7	特別委員会	第4回「国と宮城県の意見交換会」について、復興整備計画（第3回変更）について、水産業共同利用施設復興整備事業の第1回公募について、東日本大震災からの復旧・復興状況についての4項目を調査した。
46	25.1.4	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。当局からの説明事項については、第4回市震災復興推進会議について、鹿折・南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業の概要について、前回特別委員会以降の要望活動等について、被災者生活再建支援金申請状況についての4項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、防災集団移転促進事業の経過と進捗状況について、災害公営住宅の整備方針について、被災市街地復興推進地域内（松岩・面瀬地区）における復興事業の進捗状況について、内湾地区復興まちづくりの見通しについて（防潮堤の整備）、CM方式による市管理漁港の災害復旧事業についての5項目を調査することとした。
47	25.1.11	特別委員会	第4回市震災復興推進会議について、鹿折・南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業の概要について、前回特別委員会以降の要望活動等について、被災者生活再建支援金申請状況について、防災集団移転促進事業の経過と進捗状況について、災害公営住宅の整備方針について、被災市街地復興推進地域内（松岩・面瀬地区）における復興事業の進捗状況について、内湾地区復興まちづくりの見通しについて（防潮堤の整備）、CM方式による市管理漁港の災害復旧事業についての9項目を調査した。
48	25.2.4	特別委員会	災害廃棄物処理施設（小泉・階上地区）の現地調査を行った。
49	25.2.12	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。当局からの説明事項については、復興交付金事業計画の提出（第5回）について、気仙沼市震災復興会議について、気仙沼市情報通信基盤災害復旧工事の進捗状況について、災害廃棄物処理業務（2次仮置き場）の進捗状況について、気仙沼市災害公営住宅整備検討会について、前回特別委員会以降の要望活動等についての6項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、市誘導型防災集団移転促進事業の進捗状況について、低地ゾーンにおける基

No.	年月日	会議等	内容
			礎撤去について、放射性物質を含む牧草・きのこ原木等の処理状況についての3項目を調査することとした。
50	25.2.15	特別委員会	復興交付金事業計画の提出（第5回）について、気仙沼市震災復興会議について、気仙沼市情報通信基盤災害復旧工事の進捗状況について、災害廃棄物処理業務（2次仮置き場）の進捗状況について、気仙沼市災害公営住宅整備検討会について、前回特別委員会以降の要望活動等について、市誘導型防災集団移転促進事業の進捗状況について、低地ゾーンにおける基礎撤去について、放射性物質を含む牧草・きのこ原木等の処理状況についての9項目を調査した。
51	25.3.7	特別委員会	中間報告の取りまとめについて及び今後の活動について協議した。
52	25.4.4	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、東日本大震災復興交付金の交付可能額（第5回）について、第5回震災復興推進会議について、復興推進計画の認定・申請の状況等について、赤岩港津波復興拠点整備の事業認可について、鹿折・南気仙沼地区市街地区画整備の事業認可について、震災遺構について、災害公営住宅の状況について市誘導型防災集団移転の状況についての8項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、住まいの再建に係る市独自支援施策の改定の検討状況について調査することとした。 また、今後の特別委員会の開催予定日について協議し、平成25年5月10日から平成26年2月14日までの、合計10回の委員会を開催することとした。
53	25.4.11	特別委員会	東日本大震災復興交付金の交付可能額（第5回）について、第5回震災復興推進会議について、復興推進計画の認定・申請の状況等について、赤岩港津波復興拠点整備の事業認可について、被災市街地復興土地地区画整理事業の事業認可について、震災遺構について、災害公営住宅整備検討会の開催結果について、市誘導型防災集団移転の状況について、住まいの再建に係る市独自支援施策の改定の検討状況についての9項目を調査した。
54	25.5.7	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、復興推進計画の認定の状況について、農地の復旧状況について、漁業集落防災機能強化事業について、市誘導型防災集団移転の状況について、災害公営住宅整備事業の進め方について、災害危険区域内の被災宅地買取について、住まいの再建に係る市独自支援施策の改定について、産業再生支援（市上乘せ補助）施策についての8項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、市管理漁港の災害復旧事業の進捗状況について、放射性物質を含む牧草・きのこ原木等の処理状況について調査することとした。

No.	年月日	会議等	内容
55	25.5.10	特別委員会	復興推進計画の認定の状況について、農地の復旧状況について、漁業集落防災機能強化事業について、市誘導型・協議会型防災集団移転促進事業の進捗状況について、災害公営住宅整備事業の進め方について、災害危険区域内の被災宅地買取について、住まいの再建に係る市独自支援施策の改定について、産業再生支援（市上乘せ補助）施策について、市管理漁港の災害復旧事業の進捗状況について放射性物質を含む牧草・きのこ原木等の処理状況についての5項目を調査した。
56	25.6.7	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第6回）について、災害廃棄物処理業務（2次仮置き場）の進捗状況について、観光復興推進計画（観光特区）について、災害公営住宅の進捗状況についての4項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、市誘導型防災集団移転促進事業の進捗状況について調査することとした。
57	25.6.14	特別委員会	東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第6回）について、災害廃棄物処理業務（2次仮置き場）の進捗状況について、観光復興推進計画（観光特区）について、災害公営住宅建設計画の進捗状況について、市誘導型防災集団移転促進事業の進捗状況についての5項目を調査した。
58	25.7.8	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、気仙沼市震災復興計画における平成24年度下半期の進捗及び気仙沼市の復旧・復興の状況について（気仙沼市震災復興推進フォーラムからの講評）、赤岩港水産加工団地造成事業について、気仙沼市復興整備計画（第6回変更）について、気仙沼市防災集団移転促進事業に係る住宅移転事業補助についての4項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、災害公営住宅の進捗状況及び問題点等について、土地区画整理事業におけるURとの契約状況について調査することとした。
59	25.7.11	特別委員会	気仙沼市震災復興計画における平成24年度下半期の進捗及び気仙沼市の復旧・復興の状況について（気仙沼市震災復興推進フォーラムからの講評）、赤岩港水産加工団地造成事業について、気仙沼市復興整備計画（第6回変更）について、市誘導型防災集団移転促進事業の進捗状況について（小委員会後追加）、気仙沼市防災集団移転促進事業に係る住宅移転事業補助について、災害危険区域内の被災宅地買い取り説明会について（小委員会後追加）、災害公営住宅の進捗状況及び問題点等について、土地区画整理事業におけるURとの契約状況についての8項目を調査した。
60	25.8.2	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、第6回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）、気仙沼市復興整備計画（第8回変更）について、災害公営住宅仮申し込み受付状況について3項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、第36回

No.	年月日	会議等	内容
			気仙沼市都市計画審議会について、海岸防潮堤（内湾・市全域）の現状について、内湾地区の復興計画の進捗状況について、被災宅地の買い上げに伴う市有地の活用策について調査することとした。
61	25.8.6	特別委員会	気仙沼造船団地協同組合と朝日町にて計画されている造船施設整備高度化事業について、意見交換を行った。
62	25.8.9	特別委員会	第6回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）、気仙沼市復興整備計画（第8回変更）について、災害公営住宅仮申し込み受付状況について、「津波避難等に関する市民アンケート調査」設問6-③第18共徳丸保存に関する質問結果について（小委員会後追加）、第7回JR気仙沼線復興調整会議について（小委員会後追加）、第36回気仙沼市都市計画審議会について、海岸防潮堤（内湾・市全域）の現状について、内湾地区の復興計画の進捗状況について、被災宅地の買い上げに伴う市有地の活用策についての9項目を調査した。
63	25.9.6	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、第5回JR大船渡線復興調整会議について、災害廃棄物処理業務（二次仮置き場）の進捗状況について2項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、市誘導型防災集団移転促進事業と災害公営住宅整備の調整について及び防災集団移転促進事業の進捗状況について、建設系復興事業の事業間調整について、漁業集落防災機能強化事業のあり方と進捗状況についてを調査することとした。
64	25.9.13	特別委員会	第5回JR大船渡線復興調整会議について、災害廃棄物処理業務（二次仮置き場）の進捗状況について、実践型地域雇用創造事業について（小委員会後追加）、気仙沼市産業復興支援事業（独自メニュー）について（小委員会後追加）、市誘導型防災集団移転促進事業と災害公営住宅整備の調整について、防災集団移転促進事業の進捗状況について、建設系復興事業の事業間調整について、漁業集落防災機能強化事業のあり方と進捗状況についての7項目を調査した。
65	25.10.4	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、復興まちづくり協議会運営費補助金について、赤岩港水産加工団地造成事業について、水産加工施設等集積地整備事業について、事業復興型雇用創出事業についての4項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、気仙沼市魚市場の整備について、魚町・南町地区のまちづくりと土地区画整理事業について、被災宅地の買い上げに伴う市有地の活用策について、魚市場前・港町の防潮堤の整備について調査することとした。
66	25.10.11	特別委員会	復興まちづくり協議会運営費補助金について、赤岩港水産加工団地造成事業の進捗状況について、水産加工施設等集積地整備事業について、事業復興型雇用創出事業について、仮申込みを踏まえた災害公営住宅整備の調整状況等について（小委員会後追加）、気仙沼市魚市場の整備について、魚町・南町地区のま

No.	年月日	会議等	内容
			ちづくりと土地区画整理事業について、被災宅地の買い上げに伴う市有地の活用策について、魚市場前・港町の防潮堤の整備についての9項目を調査した。
67	25.11.5	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、第7回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）、災害廃棄物処理業務（二次仮置き場）の進捗状況についての2項目を調査することとした。
68	25.11.19	特別委員会	第7回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）、災害廃棄物処理業務（二次仮置き場）の進捗状況について、四反田地区災害公営住宅建設工事の入札不落についての3項目を調査した。
69	25.12.2	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、東日本大震災復興交付金の交付可能額（第7回）について、第8回気仙沼市震災復興会議について（開催報告）、気仙沼市震災復興計画の実施状況（平成25年度上半期）について、放射性物質に汚染された指定廃棄物最終処分場の選定手順等について、水産業輸出促進等調査事業の実施についての5項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、被災者の国民健康保険医療費一部負担金等免除措置に対する国の全額財政支援に関する中央要望について調査することとした。
70	25.12.6	特別委員会	東日本大震災復興交付金の交付可能額（第7回）について、第8回気仙沼市震災復興会議について（開催報告）、気仙沼市震災復興計画の実施状況（平成25年度上半期）について、放射性物質に汚染された指定廃棄物最終処分場の選定手順等について、水産業輸出促進等調査事業の実施について、被災者の国民健康保険医療費一部負担金等免除措置に対する国の全額財政支援に関する中央要望について、災害公営住宅整備事業の進捗状況等について（小委員会後追加）、気仙沼市東日本大震災伝承検討会議について（開催報告）（小委員会後追加）の8項目を調査した。
71	25.12.25	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 付託事件に追加された「気仙沼市地域防災計画（震災対策編）の修正について」は1月に開催する特別委員会において調査することとした。 特別委員会の開催日時については、当初1月10日（金）を予定していたが、「気仙沼市地域防災計画（震災対策編）の修正について」の調査を行うため、1月9日（木）10日（金）の2日間とした。 説明事項については、委員会要請として、気仙沼市と一般社団法人気仙沼地域住宅生産者ネットワークとの協定締結を受け今後の災害公営住宅整備の進め方について、防災集団移転促進事業並びに災害公営住宅整備事業の進捗状況について、気仙沼市地域防災計画（震災対策編）の修正について調査することとした。

No.	年月日	会議等	内容
72	26.1.9・10	特別委員会	第9回気仙沼市復興整備協議会について（開催報告）（小委員会後追加）、気仙沼市と一般社団法人気仙沼地域住宅生産者ネットワークとの協定締結を受け今後の災害公営住宅整備の進め方について、防災集団移転促進事業並びに災害公営住宅整備事業の進捗状況について、気仙沼市地域防災計画（震災対策編）の修正についての4項目を調査した。
73	26.2.7	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第8回）について、第8回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）、第2回気仙沼市東日本大震災伝承検討会議について（開催報告）、宮城県における指定廃棄物最終処分場の詳細調査候補地選定結果について、災害廃棄物処理業務（二次仮置き場）の進捗状況について、海の市復旧工事に係る進捗状況について、漁港以外の漁業用施設の復旧について、復旧・復興に係る全体図について、災害公営住宅整備事業鹿折地区ほか4地区の計画概要についての9項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、市誘導型防災集団移転促進事業の申し込み状況について及び災害公営住宅の相談会をふまえた申し込み状況についてを調査することとした。 また、一般会議について協議し、平成26年2月25日（火）午後1時から、気仙沼センター水産加工業協同組合外4団体と朝日町にて計画されている造船団地事業について意見交換を行うこととした。
74	26.2.14	特別委員会	東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第8回）について、第8回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）、第2回気仙沼市東日本大震災伝承検討会議について（開催報告）、宮城県における指定廃棄物最終処分場の詳細調査候補地選定結果について、災害廃棄物処理業務（二次仮置き場）の進捗状況について、海の市復旧工事に係る進捗状況について、漁港以外の漁業用施設の復旧について復旧・復興に係る全体図について、災害公営住宅整備事業鹿折地区ほか4地区の計画概要について、市誘導型防災集団移転促進事業の申し込み状況について及び災害公営住宅の相談会をふまえた申し込み状況についての10項目を調査した。
75	26.2.25	特別委員会 （一般会議）	気仙沼センター水産加工業協同組合外4団体と、朝日町にて計画されている造船団地事業について意見交換を行った。
76	26.3.3	特別委員会 （一般会議）	気仙沼造船団地協同組合と、みらい造船構想について意見交換を行った。
77	26.3.6	特別委員会	中間報告の取りまとめについて及び今後の活動について協議した。

No.	年月日	会議等	内容
78	26. 5.15	特別委員会	<p>第61回市議会（臨時会）において、議員全員による「東日本大震災調査特別委員会」を設置し、正副委員長の互選を行った。その結果、委員長に村上俊一委員、副委員長に白井真人委員を選任した。</p> <p>また、特別委員会の円滑な運営を図るため「運営小委員会」を設置し、運営小委員会委員に、今川 悟委員、菅原博信委員、三浦由喜委員、佐藤茂光委員、秋山善治郎委員を選出した。設置目的（付託事件）東日本大震災による被害の早期復旧及び復興に関する調査のため</p>
79	26. 5.16	運営小委員会	<p>運営小委員会の設置に伴い、正副委員長の互選を行った。その結果、委員長に秋山善治郎委員、副委員長に今川 悟委員を選任した。</p> <p>また、特別委員会の運営方法について協議した。</p> <p>当局からの説明事項については、復興交付金を活用した震災遺構の保存検討について、応急仮設住宅退去後動向未把握者への「今後の住まいに係る意向調査」について、災害公営住宅等入居時の引っ越し費用支援について（住まいの再建に係る市独自支援の改定）、造船・漁業用燃油施設整備事業について、漁業集落防災機能強化事業に係る発注者支援業務について、魚町・南町地区被災市街地復興土地地区画整理事業について、鹿折地区及び南気仙沼地区被災市街地復興土地地区画整理事業についての7項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、応急仮設住宅備品の譲与についての1項目を調査することとした。</p>
80	26. 5.27	特別委員会	<p>東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第9回）について、復興交付金を活用した震災遺構の保存検討について、応急仮設住宅退去後動向未把握者への「今後の住まいに係る意向調査」について、災害公営住宅等入居時の引っ越し費用支援について（住まいの再建に係る市独自支援の改定）、応急仮設住宅備品の譲与について、造船・漁業用燃油施設整備事業について、漁業集落防災機能強化事業に係る発注者支援業務について、魚町・南町地区被災市街地復興土地地区画整理事業について、鹿折地区及び南気仙沼地区被災市街地復興土地地区画整理事業について、J R 大船渡線 B R T 専用道区間延長の検討についての10項目を調査した。</p>
81	26. 6. 5	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議した。</p> <p>当局からの説明事項については、集会施設の復旧・整備に係る調整について、国による仮設施設撤去助成金制度の活用について、災害公営住宅整備事業の入居開始予定時期の検討についての3項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、災害危険区域内の建築認定の状況についての1項目を調査することとした。</p>
82	26. 6.13	特別委員会	<p>集会施設の復旧・整備に係る調整について、国による仮設施設撤去助成金制度の活用について、災害公営住宅整備事業の入居開始予定時期の検討について、災害危険区域内の建築認定の状況についての4項目を調査した。</p>

No.	年月日	会議等	内容
83	26. 7. 4	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、漁業集落防災機能強化事業に係る発注者支援業務委託の契約について、気仙沼市魚市場の整備について、(株)気仙沼コールセンターの状況についての3項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、漁港の復旧整備の進捗状況について、仮設住宅の入居状況及び修繕方針等についての2項目を調査することとした。
84	26. 7.11	特別委員会	気仙沼市震災復興計画の実施状況（平成25年度下半期）について、漁業集落防災機能強化事業に係る発注者支援業務委託の契約について、漁港の復旧整備の進捗状況について、気仙沼市魚市場の整備について、(株)気仙沼コールセンターの状況について、応急仮設住宅の入居状況及び修繕方針等についての6項目を調査した。
85	26. 7.31	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、第10回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）、都市計画（用途地域）変更について、内湾地区災害危険区域指定についての3項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、被災元地の今後の利活用について、防災集団移転団地の敷地造成の安全性の基準について、防災集団移転団地の進捗状況についての3項目を調査することとした。
86	26. 8.11	特別委員会	第10回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）、都市計画（用途地域）変更について、内湾地区災害危険区域指定について、被災元地の今後の利活用について、防災集団移転団地の敷地造成の安全性の基準について、防災集団移転団地の進捗状況について、(株)気仙沼コールセンターの状況についての7項目を調査した。
87	26. 8.28	特別委員会	登米沢地区の防災集団移転団地、階上長磯浜地区の防災集団移転団地、南郷地区の災害公営住宅、鹿折北地区の防災集団移転団地の現地踏査を行い、工事の進捗状況等について担当職員及び工事関係者から説明を受けた。
88	26. 9. 3	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、墓地に関するアンケート調査結果と今後の墓地整備について、気仙沼市復興整備計画（第15回変更）について、魚町・南町地区被災市街地復興土地地区画整理事業計画等推進業務委託の契約についての3項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、災害公営住宅のコミュニティづくりについて、地盤反力と瑕疵担保責任保険の問題についての2項目を調査することとした。
89	26. 9.12	特別委員会	墓地に関するアンケート調査結果と今後の墓地整備について、(株)気仙沼コールセンターの状況について、第12回気仙沼市復興整備協議会について（開催報告）、魚町・南町地区被災市街地復興土地地区画整理事業計画等推進業務委託の契約について、鹿折地区災害公営住宅建設工事の入札不落到に係る対応について、災害公営住宅のコミュニティづくりについて、地盤反力と

No.	年月日	会議等	内容
			瑕疵担保責任保険の問題についての7項目を調査した。
90	26.10.3	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、震災被災者生活支援センター（災害公営住宅モデルハウス）について、気仙沼市震災遺構検討会議について、(株)気仙沼コールセンターの状況について、水産加工施設等集積地整備事業の進捗状況について、防災集団移転促進事業における地盤調査についての5項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、鹿折地区及び南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業の進捗状況と課題についての1項目を調査することとした。
91	26.10.10	特別委員会	震災被災者生活支援センター（災害公営住宅モデルハウス）について、気仙沼市東日本大震災遺構検討会議について（開催報告）、(株)気仙沼コールセンターの状況について、水産加工施設等集積地整備事業の進捗状況について、防災集団移転促進事業における地盤調査について、防災集団移転促進事業の進捗状況について、鹿折地区及び南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業の進捗状況と課題についての7項目を調査した。
92	26.10.27	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第10回）について、第11回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）、朝日町造船施設整備に係る環境対策評価委員会について、(株)気仙沼コールセンターの状況について、第13回気仙沼市復興整備協議会について（開催報告）、都市計画（用途地域及び準防火地域等）の変更についての6項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、地盤反力の問題について、防潮堤の整備計画についての2項目を調査することとした。
93	26.11.11	特別委員会	東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第10回）について、第11回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）、朝日町造船施設整備に係る環境対策評価委員会について、(株)気仙沼コールセンターの状況について、第13回気仙沼市復興整備協議会について（開催報告）、都市計画（用途地域及び準防火地域等）の変更について、地盤反力の問題について、防潮堤の整備計画についての8項目を調査した。
94	26.11.26	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、東日本大震災復興交付金の交付可能額（第10回）について、気仙沼市震災復興計画の実施状況（平成26年度上半期）について、気仙沼市魚市場の整備についての3項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、(株)気仙沼コールセンターの状況について、仮設住宅の集約の進め方について、市政懇談会での主な意見等について、被災元地の今後の利活用について、内湾地区の土地区画整理事業の進捗と課題について、災害公営住宅の抽選結果等についての6項目を調査することとした。

No.	年月日	会議等	内容
95	26.12.5	特別委員会	東日本大震災復興交付金の交付可能額（第10回）について、気仙沼市震災復興計画の実施状況（平成26年度上半期自己評価）について、気仙沼市魚市場の整備について、公募買取型災害公営住宅（入沢地区）の公募結果について、(株)気仙沼コールセンターの状況について、仮設住宅の集約の進め方について、市政懇談会での主な意見等について、被災元地の今後の利活用について、魚町・南町地区土地区画整理事業の進捗と課題について、南郷地区災害公営住宅の抽選結果等についての10項目を調査した。
96	27.1.6	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、第9回気仙沼市震災復興会議について（開催報告）、(株)気仙沼コールセンターの状況について、災害公営住宅部屋割りの抽選結果についての3項目を調査することとし、あわせて委員会要請として、災害公営住宅整備事業の進捗状況について、防災集団移転促進事業の進捗状況について、内湾地区まちづくり事業の進捗状況について、住まいの再建に係る市独自支援の利用状況について、緊急雇用創出事業の来年度の状況についての5項目を調査することとした。
97	27.1.14	特別委員会	第9回気仙沼市震災復興会議について（開催報告）、(株)気仙沼コールセンターの状況について、第14回気仙沼市復興整備協議会について（開催報告）、災害公営住宅部屋割りの抽選結果について、災害公営住宅整備事業の進捗状況について、防災集団移転促進事業の進捗状況について、内湾地区まちづくり事業の進捗状況について、住まいの再建に係る市独自支援の利用状況について、緊急雇用創出事業の来年度の状況についての9項目を調査した。
98	27.2.2	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 当局からの説明事項については、東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第11回）について、第12回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）、(株)気仙沼コールセンターの状況について、公募買取型災害公営住宅（入沢地区）の公募結果についての4項目を調査することとした。 また、災害公営住宅整備事業に係る諸問題について調査するため、独立行政法人都市再生機構及び一般社団法人気仙沼地域住宅生産者ネットワークを参考人として招致することで意見がまとまった。
99	27.2.13	特別委員会	東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第11回）について、第12回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）、(株)気仙沼コールセンターの状況について、公募買取型災害公営住宅（入沢地区）の公募結果についての4項目を調査した。 また、災害公営住宅整備事業に係る諸問題について調査するため、平成27年2月26日に一般社団法人気仙沼地域住宅生産者ネットワークを、平成27年3月19日に独立行政法人都市再生機構を参考人招致し、意見を聴取することとした。

No.	年月日	会議等	内容
100	27. 2.19	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 一般社団法人気仙沼地域住宅生産者ネットワークの参考人招致について、出席者や意見聴取の内容等を確認した。
101	27. 2.26	特別委員会	一般社団法人気仙沼地域住宅生産者ネットワークを参考人招致し、以下の項目について意見聴取した。 1. 災害公営住宅整備事業に係る諸問題について ①資材の高騰について ②人手不足について ③工期の問題について ④地元業者への仕事の割り振りについて
102	27. 3. 9	特別委員会	中間報告の取りまとめについて協議した。
103	27.3.13	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議した。 独立行政法人都市再生機構の参考人招致について、出席者や意見聴取の内容等を確認した。 また、当局提案3項目を調査することとした。 【当局提案】 ①災害公営住宅整備に係る内湾地区共同化事業の進捗状況について ②(株)気仙沼コールセンターの状況について ③気仙沼港津波復興拠点整備事業に係る航行安全対策調査について
104	27.3.19	特別委員会	独立行政法人都市再生機構を参考人招致し、以下の2項目について意見聴取した。 ①災害公営住宅整備事業に係る諸問題について ②鹿折地区及び南気仙沼地区の土地区画整理事業について また、以下の3項目について調査した。 ①災害公営住宅整備に係る内湾地区共同化事業の進捗状況について ②(株)気仙沼コールセンターの状況について ③気仙沼港津波復興拠点整備事業に係る航行安全対策調査について
105	27.4.3	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案4項目、委員会要請3項目を調査することとした。 【当局提案】 ①第13回気仙沼市震災復興推進会議について(開催報告) ②気仙沼市応急仮設住宅集約化計画について ③朝日町地区造船・漁業用燃油施設整備事業について ④第15回気仙沼市復興整備協議会について(開催報告) 【委員会要請】 ①被災市街地復興土地区画整理事業の遅れについて ②気仙沼図書館について ③派遣職員の不足について また、5月上旬に牡鹿群女川町の復興状況の視察を実施することで意見がまとまった。

No.	年月日	会議等	内容
106	27.4.13	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の7項目について調査した。</p> <p>①第13回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）</p> <p>②気仙沼市応急仮設住宅集約化計画について</p> <p>③朝日町地区造船・漁業用燃油施設整備事業について</p> <p>④第15回気仙沼市復興整備協議会について（開催報告）</p> <p>⑤被災市街地復興土地地区画整理事業の遅れについて</p> <p>⑥気仙沼図書館について</p> <p>⑦派遣職員の不足について</p> <p>また、今後の活動について協議し、5月13日に牡鹿群女川町の復興状況の視察を実施することとした。</p>
107	27.4.28	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案1項目、委員会要請6項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <p>①気仙沼市震災遺構の保存整備について</p> <p>【委員会要請】</p> <p>①災害時に避難に使う道路整備について</p> <p>②防災集団移転促進事業の進捗状況等について</p> <p>③災害公営住宅整備事業の進捗状況等について</p> <p>④魚町・南町地区復興土地地区画整理事業について</p> <p>⑤内湾地区の駐車場問題について</p> <p>⑥気仙沼市の復旧・復興事業費総額見込について</p>
108	27.5.11	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の7項目について調査した。</p> <p>①気仙沼市震災遺構の保存整備について</p> <p>②災害時に避難に使う道路整備について</p> <p>③防災集団移転促進事業の進捗状況等について</p> <p>④災害公営住宅整備事業の進捗状況等について</p> <p>⑤魚町・南町地区復興土地地区画整理事業について</p> <p>⑥内湾地区の駐車場問題について</p> <p>⑦気仙沼市の復旧・復興事業費総額見込について</p>
109	27.5.13	行政視察	<p>特別委員会の決定により、牡鹿群女川町を視察した。</p> <p>牡鹿群女川町</p> <p>調査項目 復興まちづくりについて</p> <p>1.女川町の被災状況</p> <p>(1)被災状況</p> <p>平成23年3月11日、14時46分、マグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震が発生し、女川町では震度6弱（女川原子力発電所の震度計）を観測した。さらにこの地震が引き起こした津波に襲われ、沿岸部は壊滅的な被害を負った。津波によって3階建ての町庁舎も冠水したが、町長以下職員は間一髪屋上に避難して無事であった。女川原子力発電所は高台にあったため辛うじて津波の直撃を免れたものの、発電所を管理する宮城県原子力センターや原子力防災対策センター（双方とも2階建ての建物）は屋上まで冠水し、環境放射線監視システムが壊滅した。</p> <p>■人的被害（平成27年3月1日現在）</p> <p>死者数 574人</p>

No.	年月日	会議等	内容																																
			<p>死亡認定者数 253人</p> <p>■人口の変化 10,014人（平成23年3月11日現在） 6,991人（平成27年4月30日現在）</p> <p>■住家被害数 全壊 2,924棟（66.3%） 大規模半壊 149棟（3.3%） 半壊 200棟（4.6%） 一部損壊 661棟（15.0%）</p> <p>■避難状況 避難所等 最大25か所5,720人（平成23年3月13日） 二次避難者数 のべ360人</p> <p>2. 復興事業の進捗状況</p> <p>（1）事業概要</p> <p>①中心部に町役場等の公共施設や、高齢者が利用する公益施設の集約拠点を整備する。</p> <p>②女川駅周辺や国道398号沿いに商業・業務エリアを設け、居住地は安全な高台に整備する。</p> <p>③市街地縁辺部の山を切り崩し、その土（土量600万m³）で低地を嵩上げする。</p> <p>④約220haにおよぶ事業範囲を5工区に分けて段階的に施工する。</p> <p>（2）復興市街地整備事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>面積</th> <th>事業手法</th> <th>事業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中心部</td> <td>218ha</td> <td>被災市街地復興土地区画整理事業 漁港施設機能強化事業 津波復興拠点整備事業</td> <td>H24～ H30 年度</td> </tr> <tr> <td>離半島部</td> <td>54ha</td> <td>防災集団移転促進事業 漁業集落防災機能強化事業</td> <td>H24～ H28 年度</td> </tr> </tbody> </table> <p>（3）災害公営住宅の整備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>戸数</th> <th>仕様</th> <th>状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女川町民陸上競技場跡地</td> <td>200戸</td> <td>R C造</td> <td>完成・引渡済</td> </tr> <tr> <td>女川駅北</td> <td>約145戸</td> <td>R C造</td> <td>事業実施中</td> </tr> <tr> <td>ずい道</td> <td>約115戸</td> <td>R C造</td> <td>事業実施中</td> </tr> <tr> <td>荒立・大道①</td> <td>約18戸</td> <td>R C造</td> <td>事業実施中</td> </tr> </tbody> </table> <p>（4）復興事業の状況</p> <p>平成26年3月29日 女川町営運動公園住宅（災害公営住宅・女川町民陸上競技場跡地）完成・入居開始</p> <p>平成27年 2月 2日 震災後運休となっていたJR石巻線女川－浦宿駅間の試運転開始</p> <p>平成27年3月21日 JR石巻線女川－浦宿駅間の運転再開</p>	地区名	面積	事業手法	事業期間	中心部	218ha	被災市街地復興土地区画整理事業 漁港施設機能強化事業 津波復興拠点整備事業	H24～ H30 年度	離半島部	54ha	防災集団移転促進事業 漁業集落防災機能強化事業	H24～ H28 年度	地区名	戸数	仕様	状況	女川町民陸上競技場跡地	200戸	R C造	完成・引渡済	女川駅北	約145戸	R C造	事業実施中	ずい道	約115戸	R C造	事業実施中	荒立・大道①	約18戸	R C造	事業実施中
地区名	面積	事業手法	事業期間																																
中心部	218ha	被災市街地復興土地区画整理事業 漁港施設機能強化事業 津波復興拠点整備事業	H24～ H30 年度																																
離半島部	54ha	防災集団移転促進事業 漁業集落防災機能強化事業	H24～ H28 年度																																
地区名	戸数	仕様	状況																																
女川町民陸上競技場跡地	200戸	R C造	完成・引渡済																																
女川駅北	約145戸	R C造	事業実施中																																
ずい道	約115戸	R C造	事業実施中																																
荒立・大道①	約18戸	R C造	事業実施中																																

No.	年月日	会議等	内容
			<p>(石巻線全線復旧) 平成27年3月22日 女川温泉ゆぼっぼ開業</p> <p>(5) 被災者再建の見通し 現在、災害公営住宅入居や自立再建などで再建した人は被災者全体の22.2%となっている。今後の見通しは、平成27年度末で3割の人が、平成28年度末で6割の人が、平成29年度末で9割の人が、平成30年度にはすべての人が再建すると想定している。</p> <p>3. 女川町まちづくりデザインについて</p> <p>(1) 復興まちづくりデザイン会議 東日本大震災により罹災した女川町の復興まちづくりにおいて、優れた景観づくりを計画的に進め、誇りと愛着の持てる暮らしやすいまちの実現に寄与するため設置している。 「女川町まちづくりデザインのあらまし」などを作成し、復興後のまちの形を町民とともにイメージしながら、有識者の意見を聞き、実現に向けて取り組んでいる。これまでに22回開催し、今年度は5回の開催を予定している。 ・「女川町まちづくりデザインのあらまし」第1版 (平成25年12月作成) ・「女川町まちづくりデザインのあらまし」第2版 (平成26年11月作成)</p> <p>(2) まちづくりデザインの基本方針</p> <p>①海が存在を最大限に生かす ・あちこちの高台住宅地に、海が見える眺望点と景観軸を設定する。</p> <p>②もともとの地形を最大限に生かす ・現況地形はできるだけ生かして人工的な印象を和らげる。</p> <p>③歴史的資産、被災を免れた公共施設等の資産を最大限に生かす ・神社仏閣をはじめ公園や体育館等の存在価値を最大化する。</p> <p>(3) 整備の基本的な考え方</p> <p>①数十年に一度は必ず来る津波に対しても浸水しないまち ・国道398号を境に山側を嵩上げして、数十年に一度の津波はもちろん、高潮・豪雨などに対しても安全な市街地をめざして整備する。</p> <p>②複数の高台避難道路・避難ルートが整備されたまち ・多くの人々が集まるエリアから市街地中心の高台につながる道路は、3車線分の広幅員を確保する。</p> <p>③子どもも大人ものびのび歩き、活動できるまち ・幅広の歩道や歩行者優先道路のネットワークを整備する。 ・低地部からもよく見える市街地中心の高台に避難場所を配置する。 ・高台ごとに特色ある公園や広場を整備する。</p> <p>④子どもたちが安心して学べるまち ・新しい女川小・中学校は、現在の女川小・中学校と同様、今</p>

No.	年月日	会議等	内容
			<p>回と同程度の大津波でも浸水しない高台に整備する。</p> <p>⑤まちの真ん中に生活の軸線があるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい女川小・中学校、地域医療センター、町役場、生涯学習センター、保健センター、子育て支援センター、商業エリア、J R女川駅、ゆぼっぼ、交通広場を、駅前清水線沿いに集約配置する。 ・商業エリアには、官民が連携して、生活便利施設（生鮮食品店・飲食店・物販店・金融機関・郵便局・交番など）の立地を誘導する。 <p>4. 復興整備計画について</p> <p>(1) 土地利用計画</p> <p>①Aエリア</p> <p>(今回と同程度の津波に対して安全な高台〈切土〉)</p> <p>既存の市街地周辺で安全に居住できるよう高台山林部を造成するエリア</p> <p>②A'エリア</p> <p>(今回と同程度の津波に対して安全な高台〈盛土〉)</p> <p>既存の住宅地の近傍で安全に居住できるよう盛土するエリア</p> <p>③B・Cエリア</p> <p>(今回と同程度の津波で浸水するエリア)</p> <p>住居用途等の建築制限を行い、商業・業務・工業用途などが立地するエリア</p>
110	27.6.4	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案4項目、委員会要請1項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第12回）について ②朝日町地区漁業用燃油施設に係る基本設計について ③災害公営住宅の進捗状況等について ④「大船渡線沿線自治体首長会議」及び「気仙沼線沿線自治体首長会議」について <p>【委員会要請】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①復興事業の一部に地元負担を求める国の方針に対する市の取り組み方針について
111	27.6.12	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の5項目について調査した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第12回）について ②朝日町地区漁業用燃油施設に係る基本設計について ③災害公営住宅の進捗状況等について ④「大船渡線沿線自治体首長会議」及び「気仙沼線沿線自治体首長会議」について ⑤復興事業の一部に地元負担を求める国の方針に対する市の取り組み方針について
112	27.7.2	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案3項目、委員会要請3項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p>

No.	年月日	会議等	内容
			<p>①気仙沼市震災復興計画の実施状況（平成26年度下半期）について</p> <p>②(株)気仙沼コールセンターへの緊急雇用創出事業委託に係る精算対応について</p> <p>③災害公営住宅部屋割りの抽選結果について</p> <p>【委員会要請】</p> <p>①コミュニティ施設の復旧・新設の状況について</p> <p>②復興交付金効果促進事業の状況について</p> <p>③気仙沼地域住宅生産者ネットワークとの契約の進捗状況について</p>
113	27.7.13	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の6項目について調査した。</p> <p>①気仙沼市震災復興計画の実施状況（平成26年度下半期）について</p> <p>②(株)気仙沼コールセンターへの緊急雇用創出事業委託に係る精算対応について</p> <p>③災害公営住宅部屋割りの抽選結果について</p> <p>④コミュニティ施設の復旧・新設の状況について</p> <p>⑤復興交付金効果促進事業の状況について</p> <p>⑥気仙沼地域住宅生産者ネットワークとの契約の進捗状況について</p>
114	27.7.30	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案4項目、委員会要請2項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <p>①「大船渡線沿線自治体首長会議」及び「気仙沼線沿線自治体首長会議」について</p> <p>②第14回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）</p> <p>③一団地の津波防災拠点市街地形成施設用地の貸付け等について</p> <p>④(株)気仙沼コールセンターへの緊急雇用創出事業業務委託契約に係る返還金等の対応について</p> <p>【委員会要請】</p> <p>①被災宅地の買い取り及び民間への払い下げの状況について</p> <p>②気仙沼市応急仮設住宅の集約化計画の一部修正について</p>
115	27.8.11	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の6項目について調査した。</p> <p>①「大船渡線沿線自治体首長会議」及び「気仙沼線沿線自治体首長会議」について</p> <p>②第14回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）</p> <p>③一団地の津波防災拠点市街地形成施設用地の貸付け等について</p> <p>④(株)気仙沼コールセンターへの緊急雇用創出事業業務委託契約に係る返還金等の対応について</p> <p>⑤被災宅地の買い取り及び民間への払い下げの状況について</p> <p>⑥気仙沼市応急仮設住宅の集約化計画の一部修正について</p>

No.	年月日	会議等	内容
116	27.8.24	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案2項目、委員会要請2項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <p>①鹿折地区及び南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業に係る宅地等完成計画の見直しについて</p> <p>②気仙沼市営住宅等管理計画について</p> <p>【委員会要請】</p> <p>①災害公営住宅の不具合及び家賃の誤請求について</p> <p>②土地区画整理事業区域における地区計画等の進め方について</p>
117	27.9.4	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の4項目について調査した。</p> <p>①鹿折地区及び南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業に係る宅地等完成計画の見直しについて</p> <p>②気仙沼市営住宅等管理計画について</p> <p>③災害公営住宅の不具合及び家賃の誤請求について</p> <p>④土地区画整理事業区域における地区計画等の進め方について</p>
118	27.10.1	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案3項目、委員会要請2項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <p>①災害公営住宅入居者等訪問健康相談事業の実施について</p> <p>②第3回気仙沼市朝日町造船施設整備に係る環境対策評価委員会について</p> <p>③災害公営住宅部屋割り抽選結果等について（館山地区、切通地区）</p> <p>【委員会要請】</p> <p>①被災市街地復興土地区画整理事業に伴う仮住まい及び仮店舗について</p> <p>②応急仮設住宅の老朽化の状況について</p>
119	27.10.13	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の5項目について調査した。</p> <p>①災害公営住宅入居者等訪問健康相談事業の実施について</p> <p>②第3回気仙沼市朝日町造船施設整備に係る環境対策評価委員会について</p> <p>③災害公営住宅部屋割り抽選結果等について（館山地区、切通地区）</p> <p>④被災市街地復興土地区画整理事業に伴う仮住まい及び仮店舗について</p> <p>⑤応急仮設住宅の老朽化の状況について</p>
120	27.10.30	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案4項目、委員会要請3項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <p>①東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第13回）について</p> <p>②魚町・南町地区被災市街地復興土地区画整理事業に係る工事完成計画の見直しについて</p> <p>③災害公営住宅入居に係る追加募集の実施等について</p> <p>④防災集団移転促進事業に係る追加募集の実施について</p> <p>【委員会要請】</p>

No.	年月日	会議等	内容
			①九条地区災害公営住宅の整備状況について ②所沢住宅団地における道路と宅地の高低差問題について ③防潮堤整備の進捗状況について ※運営小委員会後に、当局提案として「(株) 気仙沼コールセンターの現況及び市の対応について」の1項目が追加された。
121	27.11.12	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の8項目について調査した。 ①東日本大震災復興交付金事業計画の提出(第13回)について ②魚町・南町地区被災市街地復興土地地区画整理事業に係る工事完成計画の見直しについて ③災害公営住宅入居に係る追加募集の実施等について ④防災集団移転促進事業に係る追加募集の実施について ⑤(株) 気仙沼コールセンターの現況及び市の対応について ⑥九条地区災害公営住宅の整備状況について ⑦所沢住宅団地における道路と宅地の高低差問題について ⑧防潮堤整備の進捗状況について
122	27.11.27	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案4項目、委員会要請5項目を調査することとした。 【当局提案】 ①第15回気仙沼市震災復興推進会議について(開催報告) ②赤岩港水産加工団地整備の進捗状況について ③災害公営住宅部屋割りの抽選結果等について(大島地区) ④防災集団移転団地の空き区画について 【委員会要請】 ①災害公営住宅への被災者以外の入居について ②応急仮設住宅等入居者に係る住宅再建についての意向調査の結果について(中間報告) ③防災集団移転促進事業による利子補給等の申請状況について ④事業用仮施設入居者への意向調査の結果について ⑤魚町・南町地区被災市街地復興土地地区画整理事業の推進体制について
123	27.12.4	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の9項目について調査した。 ①第15回気仙沼市震災復興推進会議について(開催報告) ②赤岩港水産加工団地整備の進捗状況について ③災害公営住宅部屋割りの抽選結果等について(大島地区) ④防災集団移転団地の空き区画について ⑤災害公営住宅への被災者以外の入居について ⑥応急仮設住宅等入居者に係る住宅再建についての意向調査の結果について(中間報告) ⑦防災集団移転促進事業による利子補給等の申請状況について ⑧事業用仮施設入居者への意向調査の結果について ⑨魚町・南町地区被災市街地復興土地地区画整理事業の推進体制について
124	28.1.5	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案5項目、委員会要請4項目を調査することとした。 【当局提案】

No.	年月日	会議等	内容
			<p>①「J R 大船渡線沿線自治体首長会議」及び「J R 気仙沼線沿線自治体首長会議」について</p> <p>②気仙沼市震災復興計画の実施状況（平成27年度上半期）について</p> <p>③第10回気仙沼市震災復興会議について（開催報告）</p> <p>④（仮称）鹿折認定こども園及び鹿折児童館整備事業について</p> <p>⑤気仙沼図書館災害復旧事業及び（仮称）気仙沼児童センター建設事業について</p> <p>【委員会要請】</p> <p>①災害危険区域内の建築認定について</p> <p>②災害公営住宅入居に係る追加募集の状況について</p> <p>③防災集団移転促進事業に係る追加募集の状況について</p> <p>④被災宅地の買い取り状況について</p>
125	28.1.12	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の9項目について調査した。</p> <p>①「J R 大船渡線沿線自治体首長会議」及び「J R 気仙沼線沿線自治体首長会議」について</p> <p>②気仙沼市震災復興計画の実施状況（平成27年度上半期）について</p> <p>③第10回気仙沼市震災復興会議について（開催報告）</p> <p>④（仮称）鹿折認定こども園及び鹿折児童館整備事業について</p> <p>⑤気仙沼図書館災害復旧事業及び（仮称）気仙沼児童センター建設事業について</p> <p>⑥災害危険区域内の建築認定について</p> <p>⑦災害公営住宅入居に係る追加募集の状況について</p> <p>⑧防災集団移転促進事業に係る追加募集の状況について</p> <p>⑨被災宅地の買い取り状況について</p>
126	28.2.5	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案5項目、委員会要請1項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <p>①追悼・祈念施設整備に係る候補地選定の経過報告について</p> <p>②東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第14回）について</p> <p>③第16回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）</p> <p>④鹿折公営墓地整備事業について</p> <p>⑤住宅再建に係る市独自支援制度の見直しについて</p> <p>【委員会要請】</p> <p>①気仙沼駅前地区災害公営住宅施設棟について</p> <p>また、3月中旬に防災集団移転事業、災害公営住宅整備事業などの復興関連事業の現地踏査を実施することで意見がまとまった。</p> <p>※運営小委員会後に、当局提案として「応急仮設住宅等入居に係る住宅再建についての意向調査結果について」「南気仙沼地区、松崎尾崎地区防災公園整備事業について」の2項目が追加された。</p>

No.	年月日	会議等	内容
127	28.2.12	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の8項目について調査した。 ①追悼・祈念施設整備に係る候補地選定の経過報告について ②東日本大震災復興交付金事業計画の提出(第14回)について ③第16回気仙沼市震災復興推進会議について(開催報告) ④鹿折公営墓地整備事業について ⑤応急仮設住宅等入居者に係る住宅再建についての意向調査結果について ⑥住宅再建に係る市独自支援制度の見直しについて ⑦南気仙沼地区、松崎尾崎地区防災公園整備事業について ⑧気仙沼駅前地区災害公営住宅施設棟について また、今後の活動について協議し、3月15日に防災集団移転事業、災害公営住宅整備事業などの復興関連事業の現地踏査を実施することとした。
128	28.3.4	特別委員会	中間報告の取りまとめについて協議した。間報告の取りまとめについて協議した。
129	H28. 3.15	特別委員会 (現地踏査)	特別委員会の決定により、現地踏査を行い、工事の進捗状況等について担当職員及び工事関係者から説明を受けた。 ①防災集団移転促進事業(大沢A・大浦・最知川原・小泉町) ②災害公営住宅整備事業(大沢・大浦・鹿折・小泉町) ③防潮堤とまちづくり関係(大谷地区) ④その他の事業(大島架橋・三陸沿岸道路・只越バイパス)
130	H28. 3.29	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案2項目、委員会要請2項目を調査することとした。 【当局提案】 ①第17回気仙沼市震災復興推進会議について(開催報告) ②応急仮設住宅の供与期間について 【委員会要請】 ①事業用仮設施設の入居期限と今後の見直しについて ②防災集団移転事業の進捗状況について ※運営小委員会後に、当局提案として「災害公営住宅整備事業の進捗状況について」の1項目が追加された。
131	H28. 4.11	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の5項目について調査した。 ①第17回気仙沼市震災復興推進会議について(開催報告) ②応急仮設住宅の供与期間について ③災害公営住宅整備事業の進捗状況について ④事業用仮設施設の入居期限と今後の見直しについて ⑤防災集団移転事業の進捗状況について
132	H28. 4.28	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案3項目、委員会要請5項目を調査することとした。 【当局提案】 ①行政区の再編統合について ②気仙沼市魚市場整備事業の工程見直しと岸壁の利用調整について ③災害公営住宅入居に係る追加募集(第2期)について 【委員会要請】

No.	年月日	会議等	内容
			<ul style="list-style-type: none"> ①応急仮設住宅の入居状況について ②被災宅地の利活用に伴う諸課題について ③港町・魚市場間の防潮堤整備計画について ④防集団地のよう壁問題に係る政府要望の結果について ⑤郊外に設置された防災集団移転・災害公営住宅団地の夜間照明について
133	H28. 5.11	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の8項目について調査した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①行政区の再編統合について ②気仙沼市魚市場整備事業の工程見直しと岸壁の利用調整について ③災害公営住宅入居に係る追加募集（第2期）について ④応急仮設住宅の入居状況について ⑤被災宅地の利活用に伴う諸課題について ⑥港町・魚市場間の防潮堤整備計画について ⑦防集団地のよう壁問題に係る政府要望の結果について ⑧郊外に設置された防災集団移転・災害公営住宅団地の夜間照明について
134	H28. 6. 3	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案5項目、委員会要請1項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①行政区の再編統合について ②東日本大震災復興交付金事業計画の提出(第15回)について ③応急仮設住宅の退去・集約見込みについて ④まちづくりマップの作成について ⑤防災集団移転促進事業に係る住宅移転事業補助（フェンス等の設置）について <p>【委員会要請】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 内湾まちなか再生計画について
135	H28. 6.10	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の6項目について調査した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①行政区の再編統合について ②東日本大震災復興交付金事業計画の提出(第15回)について ③応急仮設住宅の退去・集約見込みについて ④まちづくりマップの作成について ⑤防災集団移転促進事業に係る住宅移転事業補助（フェンス等の設置）について ⑥内湾まちなか再生計画について
136	H28. 7. 1	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案4項目、委員会要請3項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①気仙沼市震災復興計画の実施状況（平成27年度下半期）について ②地域商業施設等復旧整備事業補助金の拡充について ③農地転用許可前の工事着工について ④災害公営住宅入居に係る追加募集（第二期）の状況について <p>【委員会要請】</p>

No.	年月日	会議等	内容
			<p>① B R T 専用道及び新駅設置の計画について</p> <p>② 震災遺構整備(旧気仙沼向洋高校)の進捗及び周辺の復興計画について</p> <p>③ 防災集団移転団地の軟弱地盤対策について</p> <p>また、災害公営住宅や赤岩港水産加工団地などの復興関連事業の現地踏査を実施することで意見がまとまった。</p>
137	H28. 7.11	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の7項目について調査した。</p> <p>① 気仙沼市震災復興計画の実施状況(平成27年度下半期)について</p> <p>② 地域商業施設等復旧整備事業補助金の拡充について</p> <p>③ 農地転用許可前の工事着工について</p> <p>④ 災害公営住宅入居に係る追加募集(第二期)の状況について</p> <p>⑤ B R T 専用道及び新駅設置の計画について</p> <p>⑥ 震災遺構整備(旧気仙沼向洋高校)の進捗及び周辺の復興計画について</p> <p>⑦ 防災集団移転団地の軟弱地盤対策について</p> <p>また、今後の活動について協議し、災害公営住宅や赤岩港水産加工団地等復興関連事業の現地踏査を実施することとした。</p>
138	H28. 8. 2	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案4項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <p>① 行政区の再編統合について</p> <p>② 仮設住宅入居者の住宅再建調査結果と供与期間の特定延長について</p> <p>③ 平成27年度災害公営住宅訪問健康相談事業結果について</p> <p>④ 大谷海岸周辺整備計画(案)について</p> <p>※運営小委員会後に、当局提案として「(株)アルファ建設との紛争に係る宮城県建設工事紛争審査会第1回調停の開催について」の1項目が追加された。</p>
139	H28. 8.10	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の5項目について調査した。</p> <p>① 行政区の再編統合について</p> <p>② 仮設住宅入居者の住宅再建調査結果と供与期間の特定延長について</p> <p>③ 平成27年度災害公営住宅訪問健康相談事業結果について</p> <p>④ 大谷海岸周辺整備計画(案)について</p> <p>⑤ (株)アルファ建設との紛争に係る宮城県建設工事紛争審査会第1回調停の開催について</p>
140	H28. 8.24	特別委員会 (現地踏査)	<p>特別委員会の決定により、現地踏査を行い、工事の進捗状況等について担当職員及び工事関係者から説明を受けた。</p> <p>【市事業】</p> <p>① 牧沢地区災害公営住宅</p> <p>② 赤岩港水産加工団地</p> <p>③ 鹿折北防集団地</p> <p>【県事業】</p> <p>① 大島架橋本体組立工事</p>

No.	年月日	会議等	内容
			<ul style="list-style-type: none"> ②片浜地区防潮堤 ③沖ノ田川河川堤防 ④中島海岸防潮堤 ⑤津谷川河川堤防
141	H28. 9. 2	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案2項目、委員会要請2項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①魚町・南町地区被災市街地復興土地区画整理事業の事業計画変更について ②鹿折地区及び南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業の土地利用計画の変更について <p>【委員会要請】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①現在の災害公営住宅の家賃状況について ②防潮堤整備の進捗状況について
142	H28. 9. 9	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の4項目について調査した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①魚町・南町地区被災市街地復興土地区画整理事業の事業計画変更について ②鹿折地区及び南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業の土地利用計画の変更について ③現在の災害公営住宅の家賃状況について ④防潮堤整備の進捗状況について
143	H28.10. 3	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案1項目、委員会要請2項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①朝日町燃油施設整備事業について <p>【委員会要請】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①防災集団移転団地造成工事における作業指示書と性能確認の検査基準との整合性について ②仮設住宅及びみなし仮設住宅の特定延長の取り扱いについて（再確認）
144	H28.10.11	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の3項目について調査した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①朝日町燃油施設整備事業について ②防災集団移転団地造成工事における作業指示書と性能確認の検査基準との整合性について ③仮設住宅及びみなし仮設住宅の特定延長の取り扱いについて（再確認）
145	H28.11. 4	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案4項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①(株)アルファ建設との紛争に係る宮城県建設工事紛争審査会第2回調停の開催について ②東日本大震災復興交付金事業計画の提出(第16回)について ③第18回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告） ④第11回宮城県指定廃棄物等処理促進市町村長会議について（報告）

No.	年月日	会議等	内容
146	H28.11.11	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の4項目について調査した。 ①(株)アルファ建設との紛争に係る宮城県建設工事紛争審査会第2回調停の開催について ②東日本大震災復興交付金事業計画の提出(第16回)について ③第18回気仙沼市震災復興推進会議について(開催報告) ④第11回宮城県指定廃棄物等処理促進市町村長会議について(報告)
147	H28.11.25	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案4項目、委員会要請2項目を調査することとした。 【当局提案】 ①行政区の再編統合について ②鹿折地区及び南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業に係る宅地等完成計画の見直しについて ③魚町・南町地区被災市街地復興土地区画整理事業に係る宅地等完成計画の見直しについて ④鹿折地区及び南気仙沼地区、魚町・南町地区被災市街地復興土地区画整理事業に係る「土地利用意向調査」結果について 【委員会要請】 ①応急仮設住宅の集約化について ②岩井崎プロムナードセンターの整備方針について また、現地踏査を実施することで意見がまとまった。 ※運営小委員会後に、当局提案として「気仙沼市地区別震災慰霊碑等整備補助金(案)について」の1項目が追加された。
148	H28.12.2	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の7項目について調査した。 ①行政区の再編統合について ②気仙沼市地区別震災慰霊碑等整備補助金(案)について ③鹿折地区及び南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業に係る宅地等完成計画の見直しについて ④魚町・南町地区被災市街地復興土地区画整理事業に係る宅地等完成計画の見直しについて ⑤鹿折地区及び南気仙沼地区、魚町・南町地区被災市街地復興土地区画整理事業に係る「土地利用意向調査」結果について ⑥応急仮設住宅の集約化について ⑦岩井崎プロムナードセンターの整備方針について また、今後の活動について協議し、年度内に復興関連事業の現地踏査を実施することとした。
149	H28.12.22	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案3項目、委員会要請3項目を調査することとした。 【当局提案】 ①第11回気仙沼市震災復興会議について ②気仙沼市震災復興計画の実施状況(平成28年度上半期)について ③気仙沼駅前地区災害公営住宅施設棟整備について 【委員会要請】 ①住まいの相談会について

No.	年月日	会議等	内容
			②岩手県内陸部の災害公営住宅について ③汚染廃棄物の混焼について
150	H29. 1.11	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の6項目について調査した。 ①第11回気仙沼市震災復興会議について ②気仙沼市震災復興計画の実施状況(平成28年度上半期)について ③気仙沼駅前地区災害公営住宅施設棟整備について ④住まいの相談会について ⑤岩手県内陸部の災害公営住宅について ⑥汚染廃棄物の混焼について
151	H29. 2. 3	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案4項目、委員会要請3項目を調査することとした。 【当局提案】 ①東日本大震災復興交付金事業計画の提出(第17回)について ②気仙沼市震災遺構(旧気仙沼向洋高校)保存範囲の見直しについて ③気仙沼市市民福祉センターの供用開始について ④松崎片浜地区「土地利用に関する意向調査」結果について 【委員会要請】 ①気仙沼駅前地区災害公営住宅施設棟整備の進捗について ②被災沿岸地域の土地利用方針について ③被災者生活再建支援金について また、現地踏査を延期することで意見がまとまった。 ※運営小委員会後に、当局提案として「災害公営住宅入居者県内募集及び被災者以外の入居募集に係るスケジュールについて」と「(株)アルファ建設との紛争に係る宮城県建設工事紛争審査会第3回調停の開催について」の2項目が追加された。
152	H29. 2.10	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の9項目について調査した。 ①東日本大震災復興交付金事業計画の提出(第17回)について ②気仙沼市震災遺構(旧気仙沼向洋高校)保存範囲の見直しについて ③気仙沼市市民福祉センターの供用開始について ④松崎片浜地区「土地利用に関する意向調査」結果について ⑤気仙沼駅前地区災害公営住宅施設棟整備の進捗について ⑥被災沿岸地域の土地利用方針について ⑦被災者生活再建支援金について ⑧災害公営住宅入居者県内募集及び被災者以外の入居募集に係るスケジュールについて ⑨(株)アルファ建設との紛争に係る宮城県建設工事紛争審査会第3回調停の開催について また、今後の活動について協議し、復興関連事業の現地踏査を延期することとした。
153	H29. 3. 8	特別委員会	中間報告の取りまとめについて協議した。

No.	年月日	会議等	内容
154	H29. 3.27	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案3項目を調査することとした。 【当局提案】 ①向原区など6行政区の統合について ②校地内に設置した仮設住宅の集約・解体スケジュールについて ③気仙沼駅前地区災害公営住宅施設棟出店事業者の決定について
155	H29. 4.12	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の3項目について調査した。 ①向原区など6行政区の統合について ②校地内に設置した仮設住宅の集約・解体スケジュールについて ③気仙沼駅前地区災害公営住宅施設棟出店事業者の決定について
156	H29. 4.28	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案2項目、委員会要請3項目を調査することとした。 【当局提案】 ①第19回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告） ②(株)アルファー建設との紛争に係る宮城県建設工事紛争審査会第4回調停の開催について 【委員会要請】 ①魚町・南町地区被災市街地復興土地区画整理事業について ②仮設商店街退去後に係る意向調査の結果について ③津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金について ※運営小委員会後に、当局提案として「東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第18回）について」の1項目が追加された。
157	H29. 5.11	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の6項目について調査した。 ①第19回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告） ②(株)アルファー建設との紛争に係る宮城県建設工事紛争審査会第4回調停の開催について ③魚町・南町地区被災市街地復興土地区画整理事業について ④仮設商店街退去後に係る意向調査の結果について ⑤津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金について ⑥東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第18回）について また、今後の活動について協議し、三陸沿岸道路、大島架橋、市立新病院等復興関連事業の現地踏査を実施することとした。
158	H29. 5.23	特別委員会 (現地踏査)	特別委員会の決定により、現地踏査を行い、工事の進捗状況等について担当職員及び工事関係者から説明を受けた。 ①面瀬～大谷、鹿折～唐桑等（三陸沿岸道路） ②本吉小泉地区（中島海岸防潮堤、津谷川河川堤防） ③赤岩杉ノ沢地区（市立新病院） ④大浦～三ノ浜地区（大島架橋）

No.	年月日	会議等	内容
159	H29. 6. 2	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案3項目、委員会要請1項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <p>①災害危険区域内での住宅再建された住居の引っ越し費用支援について</p> <p>②本郷・南郷・田中前地区冠水対策事業の進捗状況について</p> <p>③復興祈念公園整備に係る基本計画について</p> <p>【委員会要請】</p> <p>①被災者の雑損控除の状況及び災害公営住宅家賃への影響について</p>
160	H29. 6. 9	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の4項目について調査した。</p> <p>①災害危険区域内での住宅再建された住居の引っ越し費用支援について</p> <p>②本郷・南郷・田中前地区冠水対策事業の進捗状況について</p> <p>③復興祈念公園整備に係る基本計画について</p> <p>④被災者の雑損控除の状況及び災害公営住宅家賃への影響について</p>
161	H29. 6.29	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案4項目、委員会要請1項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <p>①気仙沼市震災復興計画の実施状況（平成28年度下半期）について</p> <p>②防災集団移転団地における住宅用地の一般募集について</p> <p>③災害公営住宅の一般公募について</p> <p>④第13回宮城県指定廃棄物等処理促進市町村長会議及び本市の処理方針について（報告）</p> <p>【委員会要請】</p> <p>①道路整備（避難路・避難道）の進捗状況について</p> <p>※運営小委員会後に、当局提案として「災害危険区域指定時と平成27年12月時点で高さに変更が生じた防潮堤について」の1項目が追加され、②については「防災集団移転団地における住宅用地の災害危険区域居住者以外への拡大募集について」にタイトルが訂正された。</p>
162	H29. 7.11	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の6項目について調査した。</p> <p>①気仙沼市震災復興計画の実施状況（平成28年度下半期）について</p> <p>②防災集団移転団地における住宅用地の災害危険区域居住者以外への拡大募集について</p> <p>③災害公営住宅の一般公募について</p> <p>④第13回宮城県指定廃棄物等処理促進市町村長会議及び本市の処理方針について（報告）</p> <p>⑤道路整備（避難路・避難道）の進捗状況について</p> <p>⑥災害危険区域指定時と平成27年12月時点で高さに変更が生じた防潮堤について</p>

No.	年月日	会議等	内容
163	H29. 8. 2	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案4項目、委員会要請1項目を調査することとした。 【当局提案】 ①第14回宮城県指定廃棄物等処理促進市町村長会議について（報告） ②(株)アルファ建設との紛争に係る宮城県建設工事紛争審査会第5回調停の開催について ③応急仮設住宅の平成29年度解体団地について ④災害援護資金の償還開始について 【委員会要請】 ①BRT専用道整備の進捗状況とBRT未利用区間の利用について
164	H29. 8.10	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の5項目について調査した。 ①第14回宮城県指定廃棄物等処理促進市町村長会議について（報告） ②(株)アルファ建設との紛争に係る宮城県建設工事紛争審査会第5回調停の開催について ③応急仮設住宅の平成29年度解体団地について ④災害援護資金の償還開始について ⑤BRT専用道整備の進捗状況とBRT未利用区間の利用について
165	H29. 9. 1	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案3項目を調査することとした。 【当局提案】 ①魚町・南町地区被災市街地復興土地地区画整理事業に係る宅地等完成計画の見直しについて ②災害公営住宅の一般公募状況について ③防災集団移転空き区画拡大募集状況について ※運営小委員会後に、当局提案として「災害援護資金の利息の取扱いについて」の1項目が追加され、①については「魚町・南町地区被災市街地復興土地地区画整理事業に係る宅地等完成予定の見直しについて」にタイトルが訂正された。
166	H29. 9. 8	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の4項目について調査した。 ①魚町・南町地区被災市街地復興土地地区画整理事業に係る宅地等完成予定の見直しについて ②災害公営住宅の一般公募状況について ③防災集団移転空き区画拡大募集状況について ④災害援護資金の利息の取扱いについて
167	H29.10. 3	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案1項目、委員会要請4項目を調査することとした。 【当局提案】 ①住宅再建にかかる市独自支援制度の見直しについて（制度利用見込み及び支援内容の見直し） 【委員会要請】 ①中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業による復興の進

No.	年月日	会議等	内容
			<p>捗状況について</p> <p>②災害公営住宅並びに防災集団移転用地の公募状況と今後の取り組みについて</p> <p>③海岸防潮堤・河川堤防工事の進捗状況と他事業への影響について</p> <p>④水産加工施設等集積地整備事業（鹿折・南気仙沼・赤岩港）における復興状況について</p>
168	H29.10.11	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の5項目について調査した。</p> <p>①住宅再建にかかる市独自支援制度の見直しについて（制度利用見込み及び支援内容の見直し）</p> <p>②中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業による復興の進捗状況について</p> <p>③災害公営住宅並びに防災集団移転用地の公募状況と今後の取り組みについて</p> <p>④海岸防潮堤・河川堤防工事の進捗状況と他事業への影響について</p> <p>⑤水産加工施設等集積地整備事業（鹿折・南気仙沼・赤岩港）における復興状況について</p>
169	H29.10.31	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案6項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <p>①(株)アルファ建設に対する損害賠償請求訴訟第1回期日について</p> <p>②東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第19回）について</p> <p>③第20回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）</p> <p>④防災集団移転団地における住宅用地の一般募集について</p> <p>⑤鹿折地区及び南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業について</p> <p>⑥鹿折みどりのふれあい広場整備事業について</p> <p>※運営小委員会後に、当局依頼により、⑥については、工事期間や費用などの詳細が不明確であり、現時点で説明できないとの理由で説明事項から削除された。</p>
170	H29.11.10	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の5項目について調査した。</p> <p>①(株)アルファ建設に対する損害賠償請求訴訟第1回期日について</p> <p>②東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第19回）について</p> <p>③第20回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）</p> <p>④防災集団移転団地における住宅用地の一般募集について</p> <p>⑤鹿折地区及び南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業について</p>
171	H29.12.2	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案1項目、委員会要請4項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <p>①第12回気仙沼市震災復興会議について（開催報告）</p> <p>【委員会要請】</p>

No.	年月日	会議等	内容
			<p>①（仮称）大島ウェルカム・ターミナルの概要と進捗状況について</p> <p>②気仙沼市震災遺構等管理運営基本計画策定支援業務に係る公募型プロポーザルの状況について</p> <p>③復興特別区域制度による固定資産税の減免期間終了に伴う事業者への影響について</p> <p>④BRT専用道整備計画に伴う工事の進捗状況について</p> <p>※運営小委員会後に、当局提案として「校地内に設置した仮設住宅の解体スケジュールについて」、「本吉地域における海水浴場の復旧に向けた取組について」の2項目が追加された。</p>
172	H29.12.8	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の7項目について調査した。</p> <p>①第12回気仙沼市震災復興会議について（開催報告）</p> <p>②（仮称）大島ウェルカム・ターミナルの概要と進捗状況について</p> <p>③気仙沼市震災遺構等管理運営基本計画策定支援業務に係る公募型プロポーザルの状況について</p> <p>④復興特別区域制度による固定資産税の減免期間終了に伴う事業者への影響について</p> <p>⑤BRT専用道整備計画に伴う工事の進捗状況について</p> <p>⑥校地内に設置した仮設住宅の解体スケジュールについて</p> <p>⑦本吉地域における海水浴場の復旧に向けた取組について</p>
173	H29.12.22	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案5項目、委員会要請1項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <p>①気仙沼市復興祈念公園アイデアコンペの実施について</p> <p>②(株)アルファー建設に対する損害賠償請求訴訟第2回期日について</p> <p>③（仮称）南町海岸公共・公益施設整備の進捗について</p> <p>④防災集団移転団地における住宅用地の一般募集の結果について</p> <p>⑤防災集団移転事業で住宅再建された住宅の実費補助について</p> <p>【委員会要請】</p> <p>① 調理師専門学校の誘致に向けた動きについて</p>
174	H30.1.12	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の6項目について調査した。</p> <p>①気仙沼市復興祈念公園アイデアコンペの実施について</p> <p>②(株)アルファー建設に対する損害賠償請求訴訟第2回期日について</p> <p>③（仮称）南町海岸公共・公益施設整備の進捗について</p> <p>④防災集団移転団地における住宅用地の一般募集の結果について</p> <p>⑤防災集団移転事業で住宅再建された住宅の実費補助について</p> <p>⑥調理師専門学校の誘致に向けた動きについて</p>
175	H30.2.2	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案3項目、委員会要請1項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p>

No.	年月日	会議等	内容
			①東日本大震災復興交付金事業計画の提出(第20回)について ②松崎片浜地区土地区画整理事業について ③災害公営住宅に係る収入超過者等の取り扱いについて 【委員会要請】 ①仮設事業所の閉鎖の方針について ※運営小委員会後に、当局提案として「応急仮設住宅の解体スケジュールについて」、「学校法人晃陽学園の立地に関する協定締結について」、「杉ノ下防潮水門の存置について」の3項目が追加され、③については「災害公営住宅に係る収入超過世帯及び東日本大震災特別家賃低減事業対象世帯への対応について」にタイトルが訂正された。
176	H30. 2. 9	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の7項目について調査した。 ①東日本大震災復興交付金事業計画の提出(第20回)について ②松崎片浜地区土地区画整理事業について ③災害公営住宅に係る収入超過世帯及び東日本大震災特別家賃低減事業対象世帯への対応について ④仮設事業所の閉鎖の方針について ⑤応急仮設住宅の解体スケジュールについて ⑥学校法人晃陽学園の立地に関する協定締結について ⑦杉ノ下防潮水門の存置について
177	H30. 3. 5	特別委員会	中間報告の取りまとめについて協議した。
178	30. 5.18	特別委員会	第96回市議会（臨時会）において、議員全員による「東日本大震災調査特別委員会」を設置し、正副委員長の互選を行った。その結果、委員長に熊谷伸一委員、副委員長に社民村上 進委員を選任した。 また、特別委員会の円滑な運営を図るため「運営小委員会」を設置し、委員に鈴木高登委員、佐藤健治委員、菊田 篤委員、秋山善治郎委員を選出し、正副運営小委員長の互選を行った。その結果、委員長に秋山善治郎委員、副委員長に鈴木高登委員を選任した。 設置目的（付託事件）東日本大震災による被害の早期復旧及び復興に関する調査のため

No.	年月日	会議等	内容
178	30. 5.18	特別委員会	第96回市議会（臨時会）において、議員全員による「東日本大震災調査特別委員会」を設置し、正副委員長の互選を行った。その結果、委員長に熊谷伸一委員、副委員長に社民村上 進委員を選任した。 また、特別委員会の円滑な運営を図るため「運営小委員会」を設置し、委員に鈴木高登委員、佐藤健治委員、菊田 篤委員、秋山善治郎委員を選出し、正副運営小委員長の互選を行った。その結果、委員長に秋山善治郎委員、副委員長に鈴木高登委員を選任した。

No.	年月日	会議等	内容
			設置目的（付託事件）東日本大震災による被害の早期復旧及び復興に関する調査のため
179	30.5.31	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案5項目、委員会要請1項目を調査することとした。 【当局提案】 ①復興祈念公園整備事業の進捗状況について ②気仙沼市階上地区におけるパークゴルフ場整備について ③被災市街地復興土地区画整理事業の状況について（鹿折地区，南気仙沼地区，魚町南町地区） ④東日本大震災被災住宅再建補助金の制度見直しについて ⑤東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第21回）について 【委員会要請】 ① 魚町地区防潮堤問題への対応について
180	30.6.8	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の6項目について調査した。 ①復興祈念公園整備事業の進捗状況について ②気仙沼市階上地区におけるパークゴルフ場整備について ③被災市街地復興土地区画整理事業の状況について（鹿折地区，南気仙沼地区，魚町南町地区） ④東日本大震災被災住宅再建補助金の制度見直しについて ⑤東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第21回）について ⑥魚町地区防潮堤問題への対応について
181	30.7.2	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案3項目、委員会要請1項目を調査することとした。 【当局提案】 ①気仙沼市階上地区におけるパークゴルフ場整備について ②災害公営住宅の入退去状況及び一般公募の進め方について ③農林業系汚染廃棄物（稲わら・牧草）のすき込み処理を行った牧草地から生育した牧草に係る放射性セシウム濃度測定と公表について 【委員会要請】 ① 応急仮設住宅の供与期間延長に係る対応について
182	30.7.10	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の4項目について調査した。 ①気仙沼市階上地区におけるパークゴルフ場整備について ②災害公営住宅の入退去状況及び一般公募の進め方について ③農林業系汚染廃棄物（稲わら・牧草）のすき込み処理を行った牧草地から生育した牧草に係る放射性セシウム濃度測定と公表について ④応急仮設住宅の供与期間延長に係る対応について
183	30.7.30	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案2項目を調査することとした。 【当局提案】 ①気仙沼市震災復興計画の実施状況（平成29年度下半期）について

No.	年月日	会議等	内容
			②気仙沼市震災遺構等管理運営基本計画の策定について ※運営小委員会終了後に、当局依頼により、②については、計画の策定に係る組織計画等について精査を要する事項があり、現時点で説明できないとの理由で調査項目から削除された。
184	30.8.9	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の1項目について調査した。 ①気仙沼市震災復興計画の実施状況（平成29年度下半期）について
185	30.8.31	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案3項目、委員会要請5項目を調査することとした。 【当局提案】 ①気仙沼市震災遺構等管理運営基本計画の策定について ②魚町・南町地区被災市街地復興土地地区画整理事業の事業計画変更について ③魚町地区防潮堤について 【委員会要請】 ①市内運動場の復旧・復興の見通しについて ②仮設事業所の解体・譲渡の状況と退去後の対応について ③災害公営住宅の最新家賃状況について ④かさ上げ事業を活用できない土地の状況について ⑤がけ地近接等危険住宅移転事業の申請締め切りに係る状況について ※委員会要請⑤については、運営小委員会終了後に、個別に意向確認し対象者を確定する見込みであり、現在作業中であることが判明したため、調査項目から削除した。
186	30.9.7	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の7項目について調査した。 ①気仙沼市震災遺構等管理運営基本計画の策定について ②魚町・南町地区被災市街地復興土地地区画整理事業の事業計画変更について ③魚町地区防潮堤について ④市内運動場の復旧・復興の見通しについて ⑤仮設事業所の解体・譲渡の状況と退去後の対応について ⑥災害公営住宅の最新家賃状況について ⑦かさ上げ事業を活用できない土地の状況について
187	30.10.1	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、委員会要請2項目を調査することとした。 【委員会要請】 ①漁業集落防災機能強化事業の進捗状況について ②がけ近・浄化槽補助金の意向調査に係る結果と今後の対応について また、現地踏査について協議し、市内の復旧・復興状況に加え近隣市町の復興状況について行政視察を行うことで意見がまとまった。 ※運営小委員会後に、当局提案として「工事請負業者の民事再生手続申立てについて」「東日本大震災復興交付金事業計画の提出（第22回）について」「気仙沼市震災遺構等の管理運営

No.	年月日	会議等	内容
			について」の3項目が追加された。
188	30.10.11	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の5項目について調査した。 ①漁業集落防災機能強化事業の進捗状況について ②がけ近・浄化槽補助金の意向調査に係る結果と今後の対応について ③工事請負業者の民事再生手続申立てについて ④東日本大震災復興交付金事業計画の提出(第22回)について ⑤気仙沼市震災遺構等の管理運営について
189	30.11.1	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案3項目、委員会要請1項目を調査することとした。 【当局提案】 ①復興祈念公園の基本設計案について ②復興工事請負業者の経営破綻について ③第22回気仙沼市震災復興推進会議について(開催報告) 【委員会要請】 ①(株)アルファ建設に対する損害賠償請求訴訟の状況について
190	30.11.9	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の4項目について調査した。 ①復興祈念公園の基本設計案について ②復興工事請負業者の経営破綻について ③第22回気仙沼市震災復興推進会議について(開催報告) ④(株)アルファ建設に対する損害賠償請求訴訟の状況について
191	30.11.30	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案4項目、委員会要請2項目を調査することとした。 【当局提案】 ①経営破綻により契約解除された復旧・復興工事の対応について ②魚町・南町地区被災市街地復興土地地区画整理事業の事業計画変更について ③魚町地区防潮堤について ④南気仙沼地区防災集団移転団地の整備戸数の変更について 【委員会要請】 ①内湾地区まちなか再生計画について ②災害援護資金の返済状況について また、行政視察について協議し、1月下旬に岩手県沿岸の復興状況を視察することで意見がまとまった。
192	30.12.7	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の6項目について調査した。 ①経営破綻により契約解除された復旧・復興工事の対応について ②魚町地区防潮堤について ③魚町・南町地区被災市街地復興土地地区画整理事業の事業計画変更について ④南気仙沼地区防災集団移転団地の整備戸数の変更について ⑤内湾地区まちなか再生計画について

No.	年月日	会議等	内容
			⑥災害援護資金の返済状況について また、行政視察について協議し、岩手県沿岸の「復興に向けたまちづくり」について1月24日か25日のいずれかの日程で実施することに決定した。なお、受入先との調整により、日程・視察先を確定させることとした。
193	30.12.21	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案1項目を調査することとした。 【当局提案】 ①第13回気仙沼市震災復興会議について（開催報告） ※運営小委員会後に、当局提案として「地域新電力会社の設立について」の1項目が追加された。
194	31.1.11	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の2項目について調査した。 ①第13回気仙沼市震災復興会議について（開催報告） ②地域新電力会社の設立について
195	31.1.24	行政視察	特別委員会の決定により、岩手県釜石市を視察した。 岩手県釜石市 調査項目 復興に向けたまちづくりについて 1. 釜石市の概要及び東日本大震災による被災状況 (1) 釜石市の概要 釜石市は、岩手県の南東部、三陸復興国立公園のほぼ中央に位置し、安政4年(1857年)に、わが国で初めて、鉄鉱石を原料とした洋式高炉での出鉄に成功して以来、東北地方有数の重工業都市として発展し、また、世界3大漁場の一つ三陸漁場の重要な漁業基地となっている。 平成31年9月に行われるラグビーワールドカップ2019™の会場となる「釜石鶴住居復興スタジアム」の常設部分が昨年7月末に完成し、今年度末には、三陸鉄道や岩手県の横軸となる釜石自動車道、沿岸部を南北に走る三陸縦貫自動車道が開通予定となるなど受け入れ態勢を整えている。 ■人口 33,843人 ■世帯数 16,552世帯 ■面積 441.43 k㎡ (平成30年12月末現在) (2) 東日本大震災による被災状況 平成23年3月11日、14時46分、マグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震が発生し、釜石市では震度6弱(市内中妻町)を観測した。さらにこの地震が引き起こした最大波9.3m(気象庁公表データ)の津波に襲われ、沿岸部は壊滅的な被害を負った。 ■人的被害 死亡者数 1,064人 (行方不明者数152人、関連死認定者数106人含む) ■避難状況 市内避難 9,883人(H23. 3. 17最大) 内陸避難 633人(H23. 5. 9最大) ■家屋被害数

No.	年月日	会議等	内容
			<p>被害住家数 4,704戸（全16,182戸中29%）</p> <p>【内訳】 全壊 2,957戸 大規模半壊 395戸 半壊 305戸 一部損壊 1,048戸</p> <p>（3）被災世帯に対する意向調査</p> <p>■調査対象 4,078戸※基礎支援金受給世帯</p> <p>■再建内訳（H30.3月末時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自力再建 1,748世帯（うち市外385世帯） ・復興住宅 1,055世帯（うち市外 53世帯） ・補修及び賃借等 848世帯（うち市外187世帯） ・その他 427世帯 ・未定 0世帯 <p>2. 復旧・復興状況について</p> <p>釜石市では、復興推進本部に全体を統括する事務局機能、市と連携し住民・自治体・企業・NPOなどとの調整役として釜石援隊（復興支援員）、被災宅地の整備を担う都市整備推進室、被災者の生活や再建を支援する生活支援室を設置し、関係部署と調整を図りながら復旧・復興事業に取り組んでいる。</p> <p>（1）主な事業の進捗状況</p> <p>①都市再生区画整理事業</p> <p>【事業概要】</p> <p>都市計画区域内の地域で、道路・公園などの公共施設や私有地を安全で利便性の高いものにするため、公共施設の整備改善や土地の区画形質の変更・集約化を行う。</p> <p>【進捗状況】※対象区画数1,056区画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度末引き渡し区画数 75区画（全体の7%） ・平成27年度末引き渡し区画数 93区画（全体の9%） ・平成28年度末引き渡し区画数 439区画（全体の42%） ・平成29年度末引き渡し区画数 975区画（全体の92%） ・平成30年度末全区画引き渡し予定 <p>②災害復興公営住宅建設事業</p> <p>【事業概要】</p> <p>被災者の安定した住戸の確保を図るため災害復興公営住宅を整備する。</p> <p>【進捗状況】※全体整備予定22地区（47団地）1,316戸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度末引き渡し戸数 402戸（全体の31%） ・平成27年度末引き渡し戸数 462戸（全体の35%） ・平成28年度末引き渡し戸数 1,016戸（全体の77%） ・平成29年度末引き渡し戸数 1,214戸（全体の92%） ・平成30年度末全戸引き渡し予定 <p>③防災集団移転促進事業及び漁業集落防災機能強化事業</p> <p>【事業概要】</p> <p>防災集団移転促進事業は、災害の危険の恐れがある地域から住宅を移転するため高台などへ住宅団地を整備。なお、移転元地</p>

No.	年月日	会議等	内容
			<p>は住宅用地としては利用不可。</p> <p>漁業集落防災機能強化事業は、漁業集落において安全安心な居住環境を確保するための地盤嵩上げ、生活基盤や防災安全施設の整備等を実施。</p> <p>【進捗状況】※対象区画数212区画（15地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度末引き渡し区画数 4区画（全体の2%） ・平成27年度末引き渡し区画数 87区画（全体の41%） ・平成28年度末引き渡し区画数 146区画（全体の69%） ・平成29年度末引き渡し区画数 210区画（全体の99%） ・平成30年度末全区画引き渡し予定 <p>（2）現在の課題</p> <p>①復興工事の遅延 住民合意の遅れ（全21地区合意まで2年半）、地権者交渉、再建意向の変化に伴う設計変更、着工後に生じた事象への対応（軟弱地盤対策、他工事との調整）等。</p> <p>②人手不足 膨大な事務量に対し市職員の不足、雇用のミスマッチ（土木・建築の専門職やドライバー、水産加工業、サービス業で申告な不足に対し事務職に求職が偏る）。</p> <p>③被災者の住宅再建 平成26年秋時点で、再建方法の意向不明者が1,000世帯（被災4,000世帯中）※電話・訪問等の地道な意向把握と再建関連の情報提供により現時点では未定世帯ゼロ。</p> <p>④商業者の事業再建 後継者不在、販路喪失、資金不足等による再建困難。再建ではなく、仮設店舗での営業を継続する事業者への対応。</p> <p>⑤コミュニティの再生 復興公営住宅の自治会づくり支援、公営住宅・仮設住宅コミュニティと既存町内会との接続・融合、仮設住宅の廃止・集約化、孤立死や住民トラブル等への対応。</p> <p>3. 復興・創生への取り組み</p> <p>（1）オープンシティ釜石 国の地方創生の動きを踏まえ、2040年を現役世代として迎える35歳以下の市職員と市民有志50名によるワーキンググループ、700名を超える対話を経て、釜石市オープンシティ戦略（釜石市総合戦略）並びに釜石の実像（釜石市人口ビジョン）を平成28年3月に策定した。</p> <p>（2）釜石リージョナルコーディネーター（釜援隊） 釜援隊は、官と民、市内と市外の様々な人や団体を繋ぐ「まちづくりの黒衣（くろこ）」として、コミュニティ支援などに特化した活動（地域軸）と、漁業、林業、防災教育などの一つのテーマに基づいた活動（テーマ軸）に分かれた活動を行っている。隊員は、市と業務委託契約を結んだ個人事業主となるが、活動の一部を自身の新規事業開拓などにあてられる「20%ルール」が設定されるなど自由度が担保されており、平成25年4月</p>

No.	年月日	会議等	内容
			<p>の発足以来述べ29名が採用され、うち28名がU I ターン者となっている。</p> <p>(3) 釜石コンパス</p> <p>次世代を担う高校生キャリア教育として、U B S グループとの協働宣言に基づき、市内外の多様な社会人と高校生が対話し、自身の生き方やキャリアを探求するプログラム。3年間で、延べ3,000名の生徒と500名の講師が参加し、今年度からガバメントクラウドファンディングを実施し、持続可能な運営体制を検討している。</p> <p>釜石市役所での説明</p> <p>4. 復興に向けたまちづくり</p> <p>震災からの早期復興と新しいまちづくりに向け、市民、事業者、民間各種団体及び、行政が共通の認識を持って取り組むための「まちづくりビジョン」と、これを具体化するための「施策」として『釜石市復興まちづくり基本計画－スクラムかまishi復興プラン－』を策定している。</p> <p>(1) フロントプロジェクト1～商業とにぎわいの拠点～</p> <p>復興まちづくり基本計画では、釜石市の目指すべき将来像として「三陸の大地に光輝き希望と笑顔があふれるまち釜石」を掲げ、市の中心部である釜石東部地区では、将来にわたり都市機能を維持できる安全で魅力ある市街地再生に向け、フロントプロジェクトとして3つの拠点整備を推進している。</p> <p>フロントプロジェクト1は、多くの公共公益施設が被災した東部地区において、津波復興拠点整備事業を導入し、防災機能、都市機能を有する公共公益施設を整備し、隣接する民間の大型商業施設とともに、商業・文化・情報交流の拠点を形成することで、にぎわい創出の核とすることを目的としている。</p> <p>【主要施設】</p> <p>①釜石大町駐車場</p> <p>収容台数472台、鉄骨造5層6段の立体駐車場で、生活利便施設であると同時に、一時避難場所を兼ねた耐震・耐津波バリアフリー駐車場として、平成26年3月に供用開始している。</p> <p>②タウンポート大町</p> <p>地域住民の利便性向上と地元商業復活の先導施設として、釜石まちづくり株式会社が中小企業等復旧・復興支援補助事業を活用し9区画のテナント施設を整備、平成26年12月に供用開始している。</p> <p>③釜石市大町広場</p> <p>中心市街地再生のシンボルとして、各施設を繋ぐ回遊の場として中心部にイベント等に使える広場を市民活動への好循環と都市の潤い空間として整備している。道路を隔てて南側の約2,300㎡は平成27年7月、北側の約1,000㎡は平成29年12月にそれぞれ供用開始している。</p> <p>④釜石情報交流センター</p> <p>市民の交流と活動の拠点として、市民ホールとともに地域文化</p>

No.	年月日	会議等	内容
			<p>の発展を支え、にぎわい創出を目的として整備している。国内唯一の常設カフェ「ミッフェーカフェかまいし」や多目的集会室、ラウンジ、ワークスペースを備え、平成27年12月に供用開始している。</p> <p>⑤復興公営住宅 2棟65戸の復興公営住宅をフロントプロジェクト内に整備し、交通弱者などの利便性向上に努め、平成28年10月と平成29年4月にそれぞれ入居開始となっている。</p> <p>⑥釜石漁火酒場かまりば 公民連携による市有地活用事業として、釜石大町飲食店街を整備、民間がテナント施設を設置し、平成29年1月にオープン、13店舗が営業している。</p> <p>⑦釜石市民ホールT E T T O 「市民に愛され、市民の心を熱くする、市民文化の総合支援拠点」を基本理念とし、被災した旧釜石市民文化会館の代替施設として、また、災害時の避難者収容施設として整備し、平成29年12月に供用開始している。</p> <p>(2) 鶴住居地区のまちづくり 【鶴住居地区まちなか再生計画】 将来を見据えた復興まちづくりを行うため、各種土地利用、公共施設、民間商業施設等の整備、配置計画を総合する計画として策定。</p> <p>釜石市の北部に位置する鶴住居地区では、震災から新たなまちづくりとして、鶴住居駅を中心に土地区画整理事業を活用し49.2ヘクタールを平均1.7m程度嵩上げのうえ、道路・上下水道・災害公営住宅等の整備を行っている。また、津波復興拠点整備事業を活用し、山側の高台14.1ヘクタールに小・中学校と幼稚園を移設し、土地区画整理地内の平場2.3ヘクタールには、追悼の広場、交流拠点施設、体育館など、被災した旧小中学校跡地にラグビーワールドカップ会場を整備している。</p> <p>①鶴住居駅前地区公共施設（愛称：うのすまい・トモス） 津波による犠牲をなくし、未来の命を守るために震災を後世に伝え、悲劇が繰り返されないまちづくりを発信することを基本理念とし、釜石市震災メモリアルパーク整備基本構想、並びに同基本計画を策定し、平成31年3月に震災伝承関連施設を同年8月に市民体育館を供用開始予定としている。</p> <p>【施設概要】 ア. 釜石祈りのパーク 慰霊碑（芳名板）、献花台、モニュメントなどを設置し、東日本大震災の犠牲者を慰霊、追悼し、鎮魂を捧げる場としている。</p> <p>イ. いのちをつなぐ未来館 震災の出来事や教訓を後世に伝える、次世代を担う子どもをメインターゲットにした防災学習を推進する拠点施設として、展示室、防災学習室、資料閲覧室などを整備する。</p>

No.	年月日	会議等	内容
			<p>ウ. 鶉の郷交流館 地域連携による地域の魅力発信やにぎわいを創出し、交流人口の拡大を促す観光交流を推進する拠点施設として、物販・交流・飲食・情報案内などの施設を整備する。</p> <p>エ. 釜石市民体育館 競技スポーツの他、市民の健康づくりや交流イベントにも対応し、隣接施設との相乗効果を発揮するスポーツ・健康交流の拠点施設として、約1,459㎡のアリーナと観客席776席を備えた体育館を整備する。</p> <p>②商業施設整備計画 鶉住居地区内の生活利便性を確保するため、地域住民や近隣地域の消費ニーズを踏まえた商業施設を整備し、にぎわいの創出を目的としている。 商業施設は、釜石まちづくり株式会社が商業施設復興整備補助金を活用し整備・所有することとし、個々のテナントに賃借、入居テナントはスーパーマーケットやサービス業・建設業・金融業など6者を予定している。</p> <p>③釜石鶉住居復興スタジアム ラグビーワールドカップ2019™釜石開催の釜石開催を復興のシンボルイベントと位置付け、将来を担う子どもたちに夢と希望を与えるため開催地に立候補し、平成27年3月に選出された。スタジアムは、市内でもっとも被害の大きかった鶉住居地区に整備している。 釜石鶉住居復興スタジアムでの説明</p>
196	31.2.1	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案4項目、委員会要請1項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <p>①東日本大震災復興交付金事業計画（第23回）について ②気仙沼市魚市場の整備について ③松崎片浜地区被災市街地復興土地地区画整理事業の事業認可について ④地域新電力事業について</p> <p>【委員会要請】</p> <p>①津波復興拠点整備事業の進捗状況について また、市内現地踏査について協議し、2月19日本会議終了後に（仮称）気仙沼市魚市場CD棟・E棟、気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館について調査することで意見がまとまった。 ※運営小委員会後に、当局提案として「（仮称）大島ウェルカム・ターミナル整備事業造成工事の進捗状況について」「防集宅地の土地賃借料の改定について」の2項目が追加された。</p>
197	31.2.8	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の7項目について調査した。</p> <p>①東日本大震災復興交付金事業計画（第23回）について ②気仙沼市魚市場の整備について ③松崎片浜地区被災市街地復興土地地区画整理事業の事業認可に</p>

No.	年月日	会議等	内容
			<p>ついて</p> <p>④地域新電力事業について</p> <p>⑤津波復興拠点整備事業の進捗状況について</p> <p>⑥（仮称）大島ウェルカム・ターミナル整備事業造成工事の進捗状況について</p> <p>⑦防集宅地の土地賃借料の改定について</p> <p>また、市内現地踏査について協議し、2月19日本会議終了後に（仮称）気仙沼市魚市場CD棟・E棟、気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館について調査することに決定した。</p>
198	31.2.19	特別委員会 （現地踏査）	<p>特別委員会の決定により、現地踏査を行った。</p> <p>工事の進捗状況や施設概要について、担当職員や工事関係者からの説明及び施設の案内を受けた。</p> <p>1. 気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ</p> <p>【施設概要】</p> <p>構造 1階鉄筋鉄骨コンクリート造、2・3階鉄骨造</p> <p>規模 2,403.38㎡</p> <p>主な部屋 軽運動室、交流サロン、音楽スタジオ、ラジオスタジオ、展望ラウンジ、和室、研修室、駐車場等</p> <p>2. （仮称）気仙沼市魚市場CD棟・E棟</p> <p>（1）CD棟【施設概要】</p> <p>構造 プレキャストPC造地上2階建て</p> <p>規模 全長約195m、奥行約45m、延床面積17,330.51㎡</p> <p>主な施設 荷捌所、低温売場、入札室、タンク洗浄室、放射能測定室、クッキングスタジオ、展望デッキ等</p> <p>（2）E棟【施設概要】</p> <p>構造 プレキャストPC造地上3階建て</p> <p>規模 全長約135m、奥行約45m、延床面積10,143.77㎡</p> <p>主な施設 荷捌所、入札室、搬氷室、見学スペース、太陽光発電施設等</p> <p>3. 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館</p> <p>（1）気仙沼市東日本大震災遺構【施設概要】</p> <p>構造 鉄骨コンクリート造4階建て他</p> <p>規模 延床面積9,824.83㎡</p> <p>主な施設 北校舎、南校舎、EV棟、総合実習棟、生徒会館、屋内運動場等</p> <p>（2）気仙沼市東日本大震災伝承館【施設概要】</p> <p>構造 鉄骨造平屋建て</p> <p>規模 延床面積1,295.00㎡</p> <p>主な施設 映像シアター、展示室A・B、講話室、展示コーナー、図書コーナー、研修室AB、体験交流ホール</p>
199	31.3.5	特別委員会	中間報告の取りまとめについて協議した。

No.	年月日	会議等	内容
200	31.3.27	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案4項目、委員会要請1項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <p>①第23回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）</p> <p>②土砂災害警戒区域の指定に係る基礎調査と復興事業について</p> <p>③鹿折地区及び南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業の事業計画変更について</p> <p>④市営唐桑大沢住宅明渡等請求訴訟に係る判決について</p> <p>【委員会要請】</p> <p>①松崎片浜地区被災市街地復興土地区画整理事業施行地区内の土地活用事業の進捗状況について</p> <p>※運営小委員会終了後に、当局提案として「魚町地区防潮堤について」の1項目が追加され、説明順が変更された。</p>
201	31.4.11	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の6項目について調査した。</p> <p>①第23回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）</p> <p>②鹿折地区及び南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業の事業計画変更について</p> <p>③魚町地区防潮堤について</p> <p>④土砂災害警戒区域の指定に係る基礎調査と復興事業について</p> <p>⑤市営唐桑大沢住宅明渡等請求訴訟に係る判決について</p> <p>⑥松崎片浜地区被災市街地復興土地区画整理事業施行地区内の土地活用事業の進捗状況について</p>
202	31.4.23	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案2項目、委員会要請2項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <p>①東日本大震災遺構・伝承館の入館状況について</p> <p>②気仙沼市魚市場水産情報等発信施設の整備について</p> <p>【委員会要請】</p> <p>①道の駅「大谷海岸」の進捗状況について</p> <p>②大島大橋開通後の交通状況及び観光客受入状況について</p>
203	元.5.10	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の4項目について調査した。</p> <p>①東日本大震災遺構・伝承館の入館状況について</p> <p>②気仙沼市魚市場水産情報等発信施設の整備について</p> <p>③道の駅「大谷海岸」の進捗状況について</p> <p>④大島大橋開通後の交通状況及び観光客受入状況について</p>
204	元.6.07	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案4項目、委員会要請1項目を調査することとした。</p> <p>【当局提案】</p> <p>①復興祈念公園整備に係る寄附収納状況について</p> <p>②東日本大震災復興交付金事業計画（第24回）について</p> <p>③復興事業に係る道路補修事業計画について</p> <p>④津波シミュレーションの再実施に係る対応について</p> <p>【委員会要請】</p> <p>①仮設住宅の解体集約計画及びみなし仮設住宅の状況について</p> <p>※運営小委員会終了後に、当局依頼により、④については、指</p>

No.	年月日	会議等	内容
			導官庁との調整が必要と判断したことから、現時点で説明できないとの理由で調査項目から削除された。
205	元.6.14	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の4項目について調査した。 ①復興祈念公園整備に係る寄附収納状況について ②東日本大震災復興交付金事業計画（第24回）について ③復興事業に係る道路補修事業計画について ④仮設住宅の解体集約計画及びみなし仮設住宅の状況について
206	元.6.28	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案1項目、委員会要請1項目を調査することとした。 【当局提案】 ①気仙沼市震災復興計画の実施状況（平成30年度下半期）について 【委員会要請】 ①災害公営住宅の家賃状況・入居者の世帯構成及び高齢化率について
207	元.7.11	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の2項目について調査した。 ①気仙沼市震災復興計画の実施状況（平成30年度下半期）について ②災害公営住宅の家賃状況・入居者の世帯構成及び高齢化率について
208	元.7.29	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、委員会要請2項目を調査することとした。 【当局提案】 ①津波シミュレーションの再実施結果と対応について ②松崎片浜地区土地区画整理事業に係る宅地等完成計画の見直しについて 【委員会要請】 ※小委員会で検討した結果、名称と順番を変更してはどうかと検討要請をしました。 ※運営小委員会終了後、当局より①「松崎片浜地区被災市街地復興土地区画整理事業に係る施行期間の見直しについて」②「復興事業を検証するための津波シミュレーションについて」と項目名等の変更があり、説明順が変更された。
209	元.8.07	運営小委員会 協議会	特別委員会の運営方法について②「復興事業を検証するための津波シミュレーションについて」を当局から説明を受け協議した。
210	元.8.09	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の2項目について調査した。 ①松崎片浜地区被災市街地復興土地区画整理事業に係る施行期間の見直しについて ②復興事業を検証するための津波シミュレーションについて
211	元.8.30	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案なし、委員会要請もありませんでした。 また、市内の土地区画整理事業の現地踏査について協議した。 ※運営小委員会終了後、当局提案として「(株)みらい造船新工場の完成について」「令和元年における海水浴場の入込数に

No.	年月日	会議等	内容
			ついて」の2項目が追加された。
212	元.9.06	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の2項目について調査した。 ①(株)みらい造船新工場の完成について ②令和元年における海水浴場の入込数について ※市内の土地区画整理事業及び中央公民館建設予定地について 現地踏査を行うこととし、日時については運営小委員会に一任された。
213	元.9.30	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案2項目を調査することとした。 【当局提案】 ①東日本大震災復興交付金事業計画(第25回)について ②気仙沼大島ウェルカム・ターミナルについて また、市内の土地区画整理事業について、松崎片浜地区、南気仙沼地区(中央公民館建設予定地)、魚町・南町地区、鹿折地区4か所の現地踏査を10月11日(金)午前実施することとし、特別委員会の開始時間を午後1時とすることと意見をまとめた。 ※運営小委員会終了後、当局依頼により、②については、管理運営体制について、なお調整を要するとの理由で調査項目から削除された。
214	元.10.11	特別委員会 (現地踏査)	特別委員会の決定により、現地踏査を行った。土地区画整理事業の進捗状況及び中央公民館建設予定地について、担当職員から説明を受けた。 (1)松崎片浜地区 ◆事業の概要 ・事業名称 気仙沼都市計画事業 松崎片浜地区被災市街地復興土地区画整理事業 ・施行者 気仙沼市 ・施行面積 約4.8ha ・減歩率 平均0.8% ・事業期間 平成31年1月8日から令和3年3月31日 ・事業費 3.56億円 ◆復興土地区画整理事業の経緯 H23.3.11 東日本大震災発生 H23.11.11 被災市街地復興推進地域の決定 H28年度～H29年度 松崎片浜地区復興まちづくり調査 H30.3.30 被災市街地復興土地区画整理事業 都市計画決定(市決定) H31.1.08 被災市街地復興土地区画整理事業 事業計画決定公告 R01.10.01 事業計画第1回変更公告 (2)南気仙沼地区 ◆事業の概要 ・事業名称 気仙沼都市計画事業 南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業

No.	年月日	会議等	内容
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 施行者 気仙沼市 ・ 受託者 独立行政法人都市再生機構 ・ 施行面積 32.5ha ・ 減歩率 平均8.96% ・ 事業期間 平成25年3月29日から令和3年3月31日 ・ 事業費 305.9億円 <p>◆復興土地区画整理事業の経緯</p> <p>H23. 3.11 東日本大震災発生</p> <p>H23.11.11 被災市街地復興推進地域の決定</p> <p>H24. 6.27 気仙沼市とURが復興事業の推進に関する覚書、協力協定を締結</p> <p>H24. 8.15 気仙沼市とURが事業計画作成業務委託を締結</p> <p>H24. 9.18 都市計画（区画整理区域他）決定告示</p> <p>H25. 2.26 気仙沼市とURが土地区画整理事業業務委託契約を締結</p> <p>H25. 3.28 被災市街地復興土地区画整理事業 事業計画認可</p> <p>H25. 3.29 事業計画決定の公告</p> <p>H25. 7.28 工事着手</p> <p>H26. 3.28 事業計画（第一回）変更の公告</p> <p>H27. 5.14 事業計画（第二回）変更の公告</p> <p>H28. 5.31 事業計画（第三回）変更の公告</p> <p>H29.10.11 事業計画（第四回）変更の公告</p> <p>H31. 3.13 事業計画（第五回）変更の公告</p> <p>（3）魚町・南町地区</p> <p>◆事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名称 気仙沼都市計画事業 魚町・南町地区被災市街地復興土地区画整理事業 ・ 施行者 気仙沼市 ・ 事業計画等 双葉・エイト日枝・アジア航測・日測地共同推進共同体 企業体 ・ 施行面積 約11.3ha ・ 減歩率 平均12.26% (減価買取前の平均18.22%) ・ 事業期間 平成26年3月28日から令和3年3月31日 ・ 事業費 168.4億円 <p>◆復興土地区画整理事業の経緯</p> <p>H23. 3.11 東日本大震災発生</p> <p>H23.11.11 被災市街地復興推進地域の決定</p> <p>H25. 4. 8 都市計画（区画整理区域他）決定告示</p> <p>H25.12. 5 まちづくり協議会から市へ提言書ver. 1を提出</p> <p>H26. 3.28 被災市街地復興土地区画整理事業事業計画決定公告</p> <p>H26. 8.12 魚町・南町地区被災市街地復興土地区画整理事業事業計画等推進業務（JV）委託の契約</p> <p>H26.10. 8 工事着手</p>

No.	年月日	会議等	内容
			<p>H27. 1.23 事業計画（第一回）変更の公告 H27. 1.30 第1回仮換地指定 H27. 3.16 第1回使用収益開始 H28. 2.22 事業計画（第二回）変更の公告 H28. 8. 5 事業計画（第三回）変更の公告 H28.12.21 用途地域の変更・地区計画（用途の制限、最低敷地面積、壁面後退）の決定告示 H30. 8.31 事業計画（第四回）変更の公告 H30.11.22 事業計画（第五回）変更の公告 南町紫神社前商店街2階より説明 （4）鹿折地区</p> <p>◆事業の概要 ・事業名称 気仙沼都市計画事業 鹿折地区被災市街地復興土地区画整理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施行者 気仙沼市 ・ 受託者 独立行政法人都市再生機構 ・ 施行面積 42.0ha ・ 減歩率 平均8.56% ・ 事業期間 平成25年3月29日から令和2年3月31日 ・ 事業費 247.9億円 <p>◆復興土地区画整理事業の経緯 H23. 3.11 東日本大震災発生 H23.11.11 被災市街地復興推進地域の決定 H24. 6.27 気仙沼市とURが復興事業の推進に関する覚書、協力協定を締結 H24. 8.15 気仙沼市とURが事業計画作成業務委託を締結 H24. 9.18 都市計画（区画整理区域他）決定告示 H25. 2.26 気仙沼市とURが土地区画整理事業業務委託契約を締結 H25. 3.28 被災市街地復興土地区画整理事業事業計画認可 H25. 3.29 事業計画決定の公告 H25. 7.28 工事着手 H26. 3.28 事業計画（第一回）変更の公告 H27. 5.14 事業計画（第二回）変更の公告 H28. 5.31 事業計画（第三回）変更の公告 H29.10.11 事業計画（第四回）変更の公告 H31. 3.13 事業計画（第五回）変更の公告</p>
		特別委員会	特別委員会を開催し、以下の1項目について調査した。 ① 東日本大震災復興交付金事業計画（第25回）について
215	元.11.1	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案1項目を調査することとした。 【当局提案】 ① 第24回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）

No.	年月日	会議等	内容
216	元.11.11	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の1項目について調査した。 ① 第24回気仙沼市震災復興推進会議について（開催報告）
217	元.11.29	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案1項目、委員会要請1項目を調査することとした。 【当局提案】 ①（株）アルファ建設に対する損害賠償請求訴訟の状況等について 【委員会要請】 ① 防潮堤工事の進捗状況について
218	元.12.6	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の2項目について調査した。 ①（株）アルファ建設に対する損害賠償請求訴訟の状況等について ② 防潮堤工事の進捗状況について
219	元.12.20	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案1項目を調査することとした。 【当局提案】 ①市独自支援に係る住宅再建補助制度の拡充・見直しについて
220	2.1.10	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の1項目について調査した。 ①市独自支援に係る住宅再建補助制度の拡充・見直しについて
221	2.1.31	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案5項目を調査することとした。 【当局提案】 ①東日本大震災復興交付金事業計画（第26回）について ②気仙沼市東日本大震災復興記念事業について ③気仙沼市パークゴルフ場の運営方針（案）について ④気仙沼大島ウェルカム・ターミナルについて ⑤被災市街地復興土地区画整理事業の事業計画変更等について ※運営小委員会終了後、当局依頼により、③については、同設置条例を2月定例会に上程することから、当該議案審議の中で対応させていただきたいとの理由で調査項目から削除された。
222	2.2.7	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の4項目について調査した。 ①東日本大震災復興交付金事業計画（第26回）について ②気仙沼市東日本大震災復興記念事業について ③気仙沼大島ウェルカム・ターミナルについて ④被災市街地復興土地区画整理事業の事業計画変更等について
223	2.3.4	特別委員会	中間報告の取りまとめについて協議した。
224	2.3.27	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、令和2年度の特別委員会について、4月は通常開催し、5月以降は隔月（奇数月）の開催を基本とした。 従来どおり、当局からの説明事項があれば説明を受けることに加え、気仙沼市震災復興計画（平成23年10月7日策定）の7本柱に基づいた事業の進捗状況を確認するため調査・現地踏査を行うこととした。 当局提案2項目を調査することとし、1項目を協議事項とした。

No.	年月日	会議等	内容
			<p>【当局提案】</p> <p>①応急仮設住宅の解体及び仮設住宅入居者の状況について</p> <p>②民法改正に伴う市営住宅（災害公営住宅含む）入居者連帯保証人への極度額設定について</p> <p>【協議事項】</p> <p>今後の東日本大震災調査特別委員会の運営について（案）</p>
225	2.4.10	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の2項目について調査し、1項目について協議した。</p> <p>①応急仮設住宅の解体及び仮設住宅入居者の状況について</p> <p>②民法改正に伴う市営住宅（災害公営住宅含む）入居者連帯保証人への極度額設定について</p> <p>「今後の東日本大震災調査特別委員会の運営について」（案）について協議し、今後の運営方法が決定した。</p>
226	2.4.24	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案2項目、委員会要請1項目を調査することとした。</p> <p>また、現地踏査について、新型コロナウイルス感染症の影響により、現地踏査を行わないこととした。</p> <p>【当局提案】</p> <p>①復興祈念公園整備事業の進捗状況について</p> <p>②南気仙沼地区（内の脇地区）における公共施設の整備状況について</p> <p>【委員会要請】</p> <p>①「日本海溝・千島海溝沿いで想定される巨大地震モデル検討会の報告」への本市の考えと対応等について</p> <p>※運営小委員会後、当局依頼により、委員会要請①については、項目名が変更となった。</p>
227	2.5.11	特別委員会	<p>特別委員会を開催し、以下の3項目について調査した。</p> <p>①復興祈念公園整備事業の進捗状況について</p> <p>②南気仙沼地区（内の脇地区）における公共施設の整備状況について</p> <p>③「日本海溝・千島海溝沿いで想定される巨大地震モデル検討会の報告」について</p>
228	2.6.26	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案1項目、委員会要請3項目を調査することとした。</p> <p>また、現地踏査を3事業について行うこととした。</p> <p>【当局提案】</p> <p>①気仙沼市東日本大震災10年復興記念事業の募集について</p> <p>【委員会要請】</p> <p>①公営住宅家賃の状況と家賃低廉化事業の今後の見込みについて</p> <p>②被災者生活再建支援金（加算支援金）の申請状況について</p> <p>③復興事業を検証するための津波シミュレーション結果について</p> <p>【現地踏査】</p> <p>南気仙沼土地区画整理事業、復興市民広場整備事業、防災物</p>

No.	年月日	会議等	内容
			資集積配送基地整備事業（気仙沼地域）
229	2.7.10	特別委員会 （現地踏査）	<p>特別委員会を開催し、3事業について現地踏査を行い、以下の4項目について調査した。</p> <p>①気仙沼市東日本大震災10年復興記念事業の募集について ②公営住宅家賃の状況と家賃低廉化事業の今後の見込みについて ③被災者生活再建支援金（加算支援金）の申請状況について ④復興事業を検証するための津波シミュレーション結果について</p> <p>【現地踏査】 南気仙沼土地区画整理事業、復興市民広場整備事業 1 大川公園 2 BRT南気仙沼駅 3 命のらせん階段（旧阿部家住宅）・財産（市有地）の無償貸付場所等 4 南気仙沼復興市民広場</p> <p>防災物資集積配送基地整備事業（気仙沼地域） <防災物資配送基地 新築> 1 構造・階数 鉄骨造2階建て 2 面積 敷地面積 A=約6,600㎡ 建築面積 A=約900㎡ 延べ面積 A=約1,800㎡ 3 屋根 ガルバリウム鋼板 W折板葺き（断熱材 t-100） 4 外壁 ガルバリウム鋼板断熱材サンドウィッチパネル 5 内装 倉庫部 床：コンクリート金ゴテ（防塵塗装塗り） 壁：外壁材裏面表し 天井：鉄骨下地表し、屋根裏面表し 事務室等 床：長尺ビニールシート 壁：ビニルクロス（石膏ボード下地） 天井：化粧石膏ボード</p> <p>6 外構 アスファルト舗装、排水側溝等 7 主な部屋等 倉庫、事務室、会議室、仮眠室、荷物用エレベーター等</p> <p>工事契約予定 令和2年9月</p>
230	2.8.21	運営小委員会	<p>特別委員会の運営方法について協議し、当局提案1項目、委員会要請2項目を調査することとした。 また、現地踏査は行わないこととした。</p> <p>【当局提案】 ①気仙沼市震災復興計画の実施状況（令和元年度下半期）について</p> <p>【委員会要請】 ①災害公営住宅家賃低廉化事業補助水準見直しに係る対応について ②運動施設の復旧状況について</p>

No.	年月日	会議等	内容
231	2.9.4	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の3項目について調査した。 ①気仙沼市震災復興計画の実施状況（令和元年度下半期）について ②災害公営住宅家賃低廉化事業補助水準見直しに係る対応について ③運動施設の復旧状況について
232	2.10.28	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案1項目、委員会要請1項目を調査することとした。 また、現地踏査を気仙沼湾横断橋及び1事業について行うこととした。 【当局提案】 ①震災拾得物返却促進事業の終了について 【委員会要請】 ①気仙沼大島ウェルカム・ターミナルの現状について 【現地踏査】 気仙沼湾横断橋 （仮称）気仙沼湾横断橋展望スポット整備事業
233	2.11.11	特別委員会	特別委員会を開催し、気仙沼湾横断橋及び1事業について現地踏査を行い、以下の2項目について調査した。 ①震災拾得物返却促進事業の終了について ②気仙沼大島ウェルカム・ターミナルの現状について 【現地踏査】 気仙沼湾横断橋 （仮称）気仙沼湾横断橋展望スポット整備事業 <概要> 気仙沼湾横断橋は、三陸沿岸道路として2011年度（平成23年度）に新規事業化された気仙沼道路の気仙沼湾横断部に架かる橋梁。気仙沼湾に架かる区間は、「斜張橋」と呼ばれる橋梁で、主塔から張られたケーブルで橋桁を支える美しい橋である。
234	2.12.18	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案3項目、委員会要請1項目を調査することとした。 また、現地踏査は行わないこととした。 【当局提案】 ①市独自支援に係る住宅再建補助制度の拡充について ②防潮堤工事の進捗状況について 【委員会要請】 ①災害公営住宅の払い下げについて ※運営小委員会後に、当局提案として「漁業集落防災機能強化事業の進捗状況について」の1項目が追加され、説明順が変更された。
235	3.1.8	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の4項目について調査した。 ①防潮堤工事の進捗状況について ②漁業集落防災機能強化事業の進捗状況について ③市独自支援に係る住宅再建補助制度の拡充について ④災害公営住宅の払い下げについて

No.	年月日	会議等	内容
236	3.1.29	運営小委員会	特別委員会の運営について（令和3年度）協議した。
237	3.2.26	運営小委員会	中間報告のとりまとめ（案）について及び特別委員会の運営について（令和3年度）協議した。
238	3.3.3	特別委員会	中間報告のとりまとめについて及び特別委員会の運営について（令和3年度）協議した。
239	3.4.20	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案3項目、委員会要請1項目を調査することとした。 また、現地踏査は行わないこととした。 【当局提案】 ①(株)アルファ建設に対する損害賠償請求訴訟の状況等について ②南気仙沼地区の行政区再編について ③被災者生活再建支援金制度について 【委員会要請】 ①小泉町区跡地における移転元地の利活用について
240	3.5.11	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の4項目について調査した。 ①(株)アルファ建設に対する損害賠償請求訴訟の状況等について ②南気仙沼地区の行政区再編について ③被災者生活再建支援金制度について ④小泉町区跡地における移転元地の利活用について
241	3.6.28	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案3項目を調査することとした。また、先の特別委員会における「(株)アルファ建設に対する損害賠償請求訴訟の状況等について」の委員の発言について協議し、まだ係争中の案件であるため、今後については裁判の判決がでた後に、当局より報告を受けることとし、その前に報告しなければならないことが発生した場合には、報告をしていただくこととした。現地踏査は行わないこととした。 【当局提案】 ①災害公営住宅払下げに伴う鑑定評価について ②既存市営住宅集約（第一次）について 【委員会要請】 ①公営住宅の家賃状況及び家賃改定における入居者への説明等について ※運営小委員会後に、当局提案として「南気仙沼復興市民広場運動施設外整備工事の整備内容変更について」の1項目が追加された。 ※運営小委員会後、当局依頼により、委員会要請①については、項目名が変更となった。
242	3.7.9	運営小委員会	当局提案の「南気仙沼復興市民広場運動施設外整備工事の整備内容変更について」協議し、特別委員会では取り扱わないこととした。

No.	年月日	会議等	内容
243	3.7.9	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の3項目について調査した。 ①災害公営住宅払下げに伴う鑑定評価について ②既存市営住宅集約（第一次）について ③公営住宅の家賃状況及び毎年の家賃算定等に係る入居者への説明について
244	3.8.20	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案1項目を調査することとした。 また、現地踏査は行わないこととした。 【当局提案】 ①気仙沼市震災復興計画の実施状況（令和2年度下半期）について
245	3.9.3	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の1項目について調査した。 ①気仙沼市震災復興計画の実施状況（令和2年度下半期）について
246	3.10.28	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案2項目、委員会要請1項目を調査することとした。 また、現地踏査は行わないこととした。 【当局提案】 ①被災者住宅再建支援補助制度について ②災害公営住宅払下げに伴う意向調査結果について 【委員会要請】 ① 残された復旧・復興事業の進捗状況について
247	3.11.11	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の3項目について調査した。 ①被災者住宅再建支援補助制度について ②災害公営住宅払下げに伴う意向調査結果について ③残された復旧・復興事業の進捗状況について
248	3.12.17	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案3項目を調査することとした。また、11月11日の特別委員会における「今後の特別委員会の在り方について」の委員の発言について協議し、今任期中は特別委員会を継続することとし、次期任期における特別委員会の在り方については、引き続き協議をすることとした。 また、現地踏査は行わないこととした。 【当局提案】 ①防潮堤工事の進捗状況について ②漁業集落防災機能強化事業の進捗状況について ③残された復旧・復興事業の進捗状況について
249	4.1.11	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の3項目について調査した。 ①防潮堤工事の進捗状況について ②漁業集落防災機能強化事業の進捗状況について ③残された復旧・復興事業の進捗状況について
250	4.3.3	運営小委員会	中間報告のとりまとめ（案）について及び次期任期における特別委員会の在り方について協議した。「次期任期における特別委員会の在り方について」は、改選後の会派幹事長等連絡会議において特別委員会を設置することを含めて検討していただく

No.	年月日	会議等	内容
			ことでまとめ、特別委員会で小委員長報告をすることとした。
251	4.3.8	特別委員会	中間報告の取りまとめについて協議した。次期任期における特別委員会の在り方について小委員長報告を行った。

No.	年月日	会議等	内容
252	04.05.18	特別委員会	第125回市議会（臨時会）において、議員全員による「東日本大震災調査特別委員会」を設置し、正副委員長の互選を行った。 その結果、委員長に熊谷伸一委員、副委員長に村上 進委員を選任した。 目的（付託事件）東日本大震災の復興完遂及び復旧・復興事業検証に関する調査のため
253	4.6.24	特別委員会	特別委員会の運営方法について協議し、特別委員会の円滑な運営を図るため「運営小委員会」を設置し、委員に今川悟委員、及川善賢委員、熊谷雅裕委員、小野寺俊朗委員を選出し、正副運営小委員長の互選を行った。 その結果、委員長に小野寺俊朗委員、副委員長に及川善賢委員を選任した。
254	4.6.30	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、委員会要請1項目を調査することとした。 【委員会要請】 ①公営住宅の家賃状況及び毎年の家賃算定等に係る入居者への説明について
255	4.7.11	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の1項目について調査した。 ①公営住宅の家賃状況及び毎年の家賃算定等に係る入居者への説明について
256	4.8.18	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、委員会要請2項目を調査することとした。 【委員会要請】 ①第28回気仙沼市震災復興推進会議について（報告） ②防潮堤工事の進捗状況について
257	04.09.02	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の2項目について調査した。 ①第28回気仙沼市震災復興推進会議について（報告） ②防潮堤工事の進捗状況について また、以下の2項目について協議をした。 ①熊谷雅裕運営小委員の辞任について ②南気仙沼復興市民広場の現地踏査について 熊谷雅裕運営小委員の辞任について了承し、南気仙沼復興市民広場の現地踏査を行うこととした。
258	4.10.04	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、南気仙沼復興市民広場の現地踏査について再度協議を行った。急遽、特別委員会を10月27日に開催することで調整した。現地踏査後に特別委員会に

No.	年月日	会議等	内容
			において説明を受けることとした。
259	4.10.27	特別委員会 (現地踏査)	現地踏査を行い、特別委員会を開催し、下記の項目について調査した。 ①南気仙沼復興市民広場整備事業人工芝における競技ラインについて
260	4.10.27	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案、委員会要請共になし。11月11日の特別委員会については開催しないこととした。
261	4.12.16	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案1項目を調査することとした。 【当局提案】 ① 災害公営住宅の譲渡（払い下げ）について
262	5.1.11	特別委員会	特別委員会を開催し、以下1項目について調査した。 ① 災害公営住宅の譲渡（払い下げ）について
263	5.3.2	運営小委員会	中間報告のとりまとめ（案）について及び特別委員会の運営について（令和5年度）協議した。
264	5.3.7	特別委員会	中間報告のとりまとめについて協議した。
265	5.4.21	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、委員会要請2項目を調査することとした。 【委員会要請】 ①災害公営住宅の家賃減額制度の延長について ②応援職員のとりまとめ報告について
266	5.5.9	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の2項目について調査した。 ①災害公営住宅の家賃減額制度の延長について ②応援職員のとりまとめ報告について
267	5.5.22	小島敏文復興 副大臣来訪	特別委員会正副委員長出席。 宮城県漁協唐桑支所（かき・ほたて共同作業場）、ITこはらぎ荘等の視察。
268	5.6.4	斉藤鉄夫国土 交通大臣来訪	特別委員会正副委員長出席 魚町・南町地区被災市街地復興土地地区画整理事業等の視察。
269	5.6.22	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案及び委員会要請がないことを確認した。7月11日の特別委員会については開催しないこととした。
270	5.7.4	自民党東日本 大震災復興加 速化本部 橋慶一郎事務 局長来訪	特別委員会正副委員長出席 気仙沼大島ウェルカム・ターミナル、東日本大震災遺構・伝承館等の視察。
271	5.7.12	小島敏文復興 副大臣来訪	特別委員会正副委員長出席 ALPS処理水に係る意見交換
272	5.8.18	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、委員会要請2項目を調査することとした。また、運営小委員会開催後に、「宮城県管理漁港海岸防潮堤未完了地区の状況について」の1カ件について当局より説明をしたい旨の申し出があり、説明を受けること

No.	年月日	会議等	内容
			とした。 【委員会要請】 ①防災集団移転団地の現状について ②被災者支援事業の実施状況について
273	5.9.1	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の3項目について調査した。 ①宮城県管理漁港海岸防潮堤未完了地区の状況について ②防災集団移転団地の現状について ③被災者支援事業の実施状況について
274	5.10.26	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、当局提案及び委員会要請がないことを確認した。11月10日の特別委員会については開催しないこととした。
275	5.11.28	運営小委員会	特別委員会の運営について赤川副市長及び小野寺震災復興・企画部長より今後の予定案件等について確認し、協議を行った。
276	5.12.21	運営小委員会	令和6年度以降の特別委員会の運営方針について取りまとめを行い、内容を確認した。
277	6.2.29	運営小委員会	中間報告のとりまとめ（案）について協議し、令和6年度以降の特別委員会の運営について内容を再確認した。
278	6.3.3	伝承彫刻「三月」除幕式	気仙沼市復興祈念公園において伝承彫刻「三月」除幕式が執り行われ、特別委員会正副委員長が出席した。
279	6.3.5	特別委員会	中間報告の取りまとめについて及び令和6年度以降の特別委員会の運営について協議した。 令和6年度以降の特別委員会の運営について次の4点を確認した。 ①今任期中は本特別委員会を存続させる ②令和6年度以降は必要に応じて特別委員会を開催する。 ③説明事項については常任委員会と特別委員会との区分けを整理しながら運営する ④これまでの特別委員会の活動のとりまとめが必要。
280	6.12.18	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、委員会要請として以下の項目について調査することとした。 【委員会要請】 ・残された復旧・復興事業の進捗状況と今後の予定について
281	7.1.14	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の項目について調査した。 ・残された復旧・復興事業の進捗状況と今後の予定について
282	7.2.26	運営小委員会	・運営小委員の辞職について協議した。 ・中間報告のとりまとめ（案）について及び令和7年度の特別委員会の運営について協議した。
283	7.3.4	特別委員会	・運営小委員の辞職について協議した。 ・中間報告のとりまとめ（案）について及び令和7年度の特別委員会の運営について協議した。
284	7.4.16	運営小委員会	東日本大震災調査特別委員会 審査報告書について 市議会「東日本大震災の活動記録誌」について協議した。
285	7.4.21	特別委員会	東日本大震災調査特別委員会 審査報告書 編纂委員会委員について

No.	年月日	会議等	内容
			市議会「東日本大震災の活動記録誌」編纂委員会委員について協議した。
286	7.5.21	第1回編纂委員会	気仙沼市議会「東日本大震災の活動記録誌」編纂について協議し、6月補正予算において、作成業務委託費等の予算要求を行うこととした。
287	7.7.16	第2回編纂委員会	気仙沼市議会「東日本大震災の活動記録誌」編纂について協議し、ページ割りを確定した。 また、議員アンケート、編纂支援及びデザイン業務委託について確認を行った。
288	7.7.29	第3回編纂委員会	市議会「東日本大震災の活動記録誌」編纂について協議し、編纂支援及びデザイン業務委託仕様書及び議員アンケートの確認を行った。 また、東日本大震災調査特別委員会において、編纂の途中経過報告と議員アンケートのお願いを行うこととした。
289	7.8.8	特別委員会	気仙沼市議会「東日本大震災の活動記録誌」編纂の途中経過について 議員アンケートのお願いについて 市議会の「震災活動記録誌」を編纂して進める方針を了承し、原稿収集のため議員アンケートを実施することを確認した。
290	7.8.26	第4回編纂委員会	契約後、支援・デザイン委託を進め、誌面体裁・担当を確定し、9～10月集中で編纂を進める方針を確認。
300	7.9.9	第5回編纂委員会	合同会社moyaiと契約を締結し、記録誌のデザイン・編集作業を本格開始することを確認。レイアウト案は「案2」を基に進め、9月末までに各分野の誌面構成を作成することを決定。編纂室を設置して共同作業を進め、次回会議から開催予定とした。
301	7.9.19	第6回編纂委員会	表紙は写真案で進め、目次・挨拶の配置を確定。歴代写真は年表へ移し、分野別の原稿は9月末締切とした。
302	7.10.2	第7回編纂委員会	記録誌の構成・デザイン・章立てを確認し、写真や原稿を各担当が10月末までに完成させる方針を決定した。
303	7.10.15	第8回編纂委員会	記録誌の各分野原稿とレイアウトを10月末までに完成させ、11月5日に中間確認を行うことを決定した。
304	7.11.5	運営小委員会	市議会「東日本大震災の活動記録誌」について 東日本大震災調査特別委員会を開催し、編纂の途中経過報告と今後記録誌の最終確認をお願いする旨、説明を行うこととした。
305	7.11.5	第9回編纂委員会	東日本大震災調査特別委員会において、報告する、編纂の途中経過報告と今後記録誌の最終確認をお願いする旨、説明を行うこととした。
306	7.11.11	特別委員会	気仙沼市議会「東日本大震災の活動記録誌」編纂の途中経過について
307	7.11.14	第10回編纂委員会	前回指摘の修正反映、紙面レイアウトの検討、写真選定、数値・日付のチェック、見出し・小見出しの整理、各分野の原稿の清書方針を決定した。

No.	年月日	会議等	内容
308	7.11.17	第11回編纂委員会	記録誌のレイアウトと内容統一を軸に、分野別ページ構成の合意形成、写真・キャプション手配の方針確認、編集体制の整理、次回会合のスケジュール設定を行った。
309	7.12.4	第12回編纂委員会	「活動記録誌」の編纂に関する進捗と状況の確認を。分野構造の調整、版面設計と統一規格、資料や写真の収集、各分野の内容校正、印刷計画とスケジュール、さらに今後の会議や特別委員会の日程変更について統括的に調整。合同会社moyaiからの一部の見開き原稿を確認し、テキストや素材を順次提出し、年内に入稿を完了、翌年に集中して校正と印刷を行う予定とすることにした。
310	7.12.17	第13回編纂委員会	合同会社moyaiとともに、デザイン案やレイアウトの提示と議論を実施。 サポートセンター関連の写真不足（開所式のみ）を補う代替案検討。 物資手渡しなどの場面写真の追加入手（三陸新報への依頼結果待ち）。 似顔絵・AIイラストの活用は難易度高く代替手段を継続検討。 12月23日夜：各担当による写真選定・キャプション提出締切 1月4日の週：合同会社moyaiによるデータ入れ込み作業。 1月11日の週：データ受け渡し、編纂委員チェック。 1月18日の週：修正反映・再チェック（最終調整）。 1月末：最終入稿完了目標。 議員からのメッセージのページの撮影方法や用紙（A3／太字マーカー）の準備と見本撮影の実施。
311	7.12.25	第14回編纂委員会	編集及び写真選定作業を集中的に実施した。 視察のご案内と委員会メッセージのページ構成を更新。 BRT写真はJR許可取得後に最終決定。 災害危険区域・嵩上げゾーンは事務局で追加撮影。 次回会議を1月中旬に開催し、A3ゲラで校正を進行。 入稿を2月上旬、印刷仕上げを3月上旬、3月11日配布を目標に設定。
312	8.1.15	運営小委員会	特別委員会の運営方法について協議し、委員会要請として以下の項目について調査することとした。 【委員会要請】 ・残された復旧復興事業の進捗状況と今後の予定について 協議事項 （1）最終報告書（案）について （2）記録誌の編纂状況について
313	8.1.15	第15回編纂委員会	記録誌の初稿データの修正等について協議を行った。 校正：1月19日（前半部分）、1月23日（後半部分） 当局確認：1月20日依頼→1/23日回答目標（前半→後半の順で波状的） 最終デザイン：1月末納品、2月2日原稿引き渡し、3月2日納品、3月11日の式典に合わせる。 編纂委員：1月19日の校正に向け、現行約37ページ分を持ち帰

No.	年月日	会議等	内容
			り赤入れし、キャプション等の修正案を準備。 編纂委員：1月23日の校正で、19日に受領する後半原稿を紙ベースで一括確認。 事務局：1月20日までに前半分を当局へ事実確認依頼、1月23日までに回答を回収。
314	8.1.19	第16回編纂委員会	記録誌の初稿（第1弾分）の校正及び初稿（第2弾分）の配布を行った。 市議会「東日本大震災の活動記録誌」編纂プロジェクトの進捗共有と初稿（第一弾・第二弾）の校正方針を確認。レイアウト・用語統一・章立て・写真選定・図表体裁・数値更新を中心に詳細な修正指示を集約。 第一弾で指摘した修正を継続反映しつつ、第二弾では新規配布分（表紙デザイン案含む）と後半分野ページの確認を実施。市当局からの追補修正（例：被害状況・インフラ・統計）も反映前提で整理。 次回までに各委員が担当領域の「持ち帰り校正（宿題）」を仕上げ、ベンダーへ一括指示。全議員への校正共有も実施。
315	8.1.23	第17回編纂委員会	記録誌の初稿（第2弾分）の校正及び当局修正箇所（第2弾分）の配布を行った。 印刷業者の決定：三陸印刷株式会社が落札 現在の第3章から第7章を一つにまとめて整理 大きく4つの構成に分類：「はじめに」「議会の対応」「30分野で復旧復興検証」「終わりに」 分野という用語を復活させ、「30分野で復旧復興検証」をメインタイトルとする 新庁舎・おもちゃ美術館の内容を視察特集に含める 議員任期ごとに色分けして整理 1月28日：第1弾分の2回目校正 1月29日以降：第2弾分の2回目校正開始 人口減少対策調査特別委員会の活動内容表を全面的に見直し 1月27日：第1弾分の校正データ到着予定 1月28日（水）10時：第2回編纂委員会開催 1月29日（木）：第2弾分の第2校正データ到着予定 2月2日：最終確認作業 全議員への共有 校正データの到着次第、全議員にデータを共有 1月30日までに議員からの意見収集 事務局：全議員への校正データ配布準備 1月26日議員全体説明会での協力依頼実施 事務局：配布方法の具体案を次回提示
316	8.1.28	第18回編纂委員会	記録誌の2回目（第1弾分）の校正を行った。 記録誌（東日本大震災 議会活動記録誌）の第2回校正（前半：分野12「農林業」まで）を実施。後半データの到着待ち。2月2日に校正確認を行う。 校正範囲は、写真差替え・キャプション修正、用語・表記統一

No.	年月日	会議等	内容
			、フォント・配色・見出し配置など全体設計の見直しを含む。 配布先計画（2,000部基準）と増刷・資金手当（議員有志の購入等）を検討。 第1弾＋第2弾データを全議員へタブレットで一括共有
317	8.2.2	第19回編纂委員会	記録誌の2回目校正（第2弾分）の確認及び3回目校正（第1弾分）の配布を行った。 2月5日（木）9:00から（第20回編纂委員会） 内容：観光以降～末尾（本日未了分）の校正取りまとめ、当局指摘の反映確認、データ差替指示の集約。 目標：2/6提示用「ほぼ最終稿」の準備完了。 2月6日（金） 本会議終了後第21回編纂委員会 目的：全体通し確認（第1弾・第2弾統合の最終整合／奥付・配本計画の確定） 第1弾・第2弾の最新版グラマー式を版次・日付付きでタブレットに集約 業者：本会議で合意したレイアウト・見出し・写真調整（表紙／奥付／ご挨拶／がれき／住宅／水産／農林／インフラ等）を2月5日朝までに反映。 財政課/企画課：復興基金「活用事業一覧」の最新版（合計整合版）を提出、本文・表の総計一致
318	8.2.5	第20回編纂委員会	記録誌の3回目校正の確認及び4回目校正の配布を行った。 2月6日の第21回に紙ベース配布分の混在箇所を全て洗い出し、ほぼ最終確認へ 目次見出し・略年表・写真差替の反映状況を確認し一括再指示 会期中のできるだけ早い機会に入稿 最終グラ確認は誤字脱字リスクを許容しつつ、緊張感を持って短期集中的に実施
319	8.2.6	第21回編纂委員会	記録誌の4回目校正の確認を行った。
320	8.2.10	第22回編纂委員会	記録誌の5回目校正の配布を行った。
321	8.2.12	特別委員会	特別委員会を開催し、以下の項目について調査した。 【委員会要請】 ・残された復旧復興事業の進捗状況と今後の予定について協議事項 (1) 最終報告書（案）について (2) 記録誌の編纂状況について

(2) 特別委員会の調査結果

東日本大震災により犠牲となられた多くの尊い命に対し、改めて深い哀悼の意を表しますとともに、今なお影響を受けておられるすべての皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

東日本大震災調査特別委員会に付託されました事件の調査経過及び結果について、ご報告申し上げます。

本特別委員会は平成23年5月に設置され、復旧・復興の完遂とその過程の検証を目的に、15年にわたり継続的な調査を行ってまいりました。発災直後の混乱期から復興事業の収束段階に至るまで、現地調査、当局からの説明聴取、関係機関との意見交換を重ね、震災対応と復興施策の検証に努めてまいりました。

①災害対応の初動について

震災当時、市議会は新年度予算審査中であり、議会自体も被災する中で定足数を確保し、3月14日に委員会及び本会議を再開、全議案を可決いたしました。議会が意思決定機能を維持したことは、緊急予算の執行や契約締結、条例改正を迅速に進める基盤となり、復旧・復興の立ち上げを支える重要な役割を果たしました。一方、議員が地域ごとに分散して活動したことから、情報集約と共有の仕組みの不十分さも課題として明らかとなりました。今後は、議会業務継続計画、いわゆる議会BCPの整備や、災害対策本部との情報共有手順の標準化が必要であります。

次に、避難所運営及び応急仮設住宅についてであります。

震災直後、約2万人が避難し、最大127か所への物資配送を行うなど、対応は自治体の能力を大きく超える状況となりました。避難所の完全解消までには相当の期間を要しました。応急仮設住宅では、入居の長期化に伴い、みなし仮設の活用、孤立防止、健康維持が重要課題となりました。住まいの再建は復興の柱ですが、避難生活の長期化は健康悪化やコミュニティの分断を招くおそれがあります。住宅供給の量のみならず、避難生活の質を支える視点が不可欠であり、避難所から仮設、恒久住宅へと至る過程を一体的に管理する体制を平時から整える必要があります。

②津波リスク対策と土地利用について

復興計画では津波をレベル1・レベル2に区分し、防潮堤などのハード対策と高台移転やかさ上げ等の土地利用対策を組み合わせ、「津波による犠牲者ゼロ」を目標に掲げました。災害危険区域の指定は生命を守るために不可欠である一方、生活再建の選択肢を制限する側面もあります。そのため、丁寧な説明と合意形成が重要であり、議会としても附帯決議を通じ説明責任の徹底を求めてまいりました。あわせて、買い取り後の未活用地の管理や財政負担も課題であり、今後は資産政策として一体的な土地活用を進める必要があります。

③防災集団移転及び住まい再建について

防災集団移転促進事業は46団地907区画、総事業費約500億円の大規模事業となり、宅地完成まで約8年を要しました。制度が大規模津波を十分に想定していなかったことから、合意形成や造成工事などで多くの課題が生じました。議会は進捗や意向調査を継続的に確認し、制度運用の改善を求めてまいりました。住まい再建の遅れは仮設住宅の長期化や人口流出につながるた

め、迅速かつ丁寧な合意形成の重要性が明確となりました。

④災害公営住宅とコミュニティについて

災害公営住宅は28地区2,087戸、事業費約763億円の整備となりました。住宅供給は大きな成果ですが、入居後の孤立防止や健康問題への対応、地域コミュニティの維持が本質的課題であります。公営住宅を見守りや交流、防災の拠点と位置づけ、福祉・医療との連携を強化する必要があります。

⑤災害廃棄物処理と環境対策について

災害廃棄物は約198万トンに及びました。仮置き場の設置や搬出では、迅速さと安全性に加え、住民への十分な説明と情報公開が不可欠であることを確認いたしました。

次に、情報伝達と合意形成についてであります。

復興施策は内容の妥当性のみならず、市民理解と合意形成があつてこそ前進します。議会は附帯決議等を通じ説明責任の明確化を図りました。今後は、早期の論点整理や比較資料の提示など、合意形成を見据えた政策設計が求められます。

⑥法制度と財政運営について

復興期には予算規模が大幅に拡大し、迅速な執行と適切な監視の両立が課題となりました。議会は専決処分の特例を認めつつ、交付金や基金の状況を可視化し、継続的な検証を行いました。今後も特例措置は事後検証を前提とし、透明性と説明責任を確保する制度設計が必要であります。次に、教訓の伝承と今後への備えについてであります。

震災遺構の保存、防災計画の見直し、防災教育の充実など、経験を次世代へ継承する取り組みは不可欠であります。本委員会は最終報告書を取りまとめ、15年の歩みを整理いたしました。経験を制度として残し、定期的に検証することが将来の被害軽減につながります。

⑦議会の役割と意思決定の検証について

復興期には年間200件を超える議案が審議され、重要な意思決定が行われました。本委員会は附帯決議や現地調査等を通じ、行政施策への提言や修正を行い、議会としての責務を果たしてまいりました。他方、非常時における迅速性と慎重審査の両立の難しさも明らかとなりました。今後は非常時における議会関与の在り方をあらかじめ整理しておくことが重要であります。

⑧今後に向けた教訓と提言について

第一に、情報共有と透明性の確保であります。災害時こそ十分な説明と対話が信頼関係を支えます。

第二に、制度と人材の備えであります。全国からの応援職員の支援は復興を支える大きな力となりました。広域連携や人材確保の仕組みを平時から整える必要があります。

第三に、震災の記憶を風化させないことでもあります。震災遺構の保存や防災教育の推進は未来への責任であります。

本特別委員会は、これらの教訓を市政運営に活かし、今後想定される大規模災害に備える体制づくりを進めていくことを強く求めるものであります。

以上が調査の概要であります。

⑨むすびに

震災から15年が経過し、復興は一定の区切りを迎えました。本特別委員会は付託事件の調査目的がおおむね達成されたものと判断し、本任期をもって活動を終了いたします。本特別委員会の15年間の活動が、今後の防災・減災対策、そして市民の安全と安心を守る取り組みに活かされることを願います。

以上、東日本大震災からの復旧及び復興が概ね完了したことにより、本特別委員会へ付託された事件についての調査目的が達成されたことから、本任期をもって活動を終了し、ここに委員会報告を行うものであります。

以上のとおりご報告いたします。

令和8年 3月 4日

東日本大震災調査特別委員会
委員長 熊谷伸一

議長 千葉慶人 様